京城日報
廿五日夕刊
定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢 三ヶ月金壹圓四拾五錢 六ヶ月金二圓八拾錢 ▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲雜報欄内一行金壹圓五拾錢 ▲特別指定一行は二號活字同様▲三號活字の一行は五號活字同様▲六號活字の事
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話 編輯局四五〇番 營業部二三一番 振替貯金口座京城三〇〇番

○唐繼堯虚勢を張る 蔡鍔の死は虚報か

雲南來電に曰く唐都督は更に二箇軍團を組織し各軍團長を任命し大に虚勢を示し居れり又蔡鍔將軍死去の説は當地官邊にて否認し居れり（北京特電）

○墨國聲援を求む 南米諸國に米國の野心を説く

墨國政府は南米諸國政府に檄を飛ばし米國の野心を説き聲援を求め居れり獨逸が某國を煽動せる形跡明瞭なりとの報あり（桑港電報）

○佛國政府信任案可決 政府と國會との間意思疏通す

佛國は大多數を以て政府信任案を可決せり、政府と國會との間には毫も意思の疎隔なきに至れり、國會は其の行動を唯政府の諸種の設備及び攻防兩樣の策戰其の他軍需品、工業等に關し果して遺漏なきやを監視するに止めんと欲するに在りて毫も軍事的行動に關渉せざるべし、猶國會は今後必要の際には秘密會を催すべし又同會は軍事委員會なるものを新設し軍事に關する百般の施設を檢査するに決せり（巴里電報）

○露軍益々南進す

露軍はツエルノウイツチの南方約五十哩にあるデュラ及びスモラー二地點を占領したり（紐育電報）

○南洋視察團歸る

南洋視察團中坪谷善四郎、久留島武彦氏等一行十七名二十五日朝南洋丸にて門司に入港せしが中南三名は當地に上陸し他の諸氏は同船にて正午發神戸經由東上せり（門司特電）

●滿洲便り　大連 通信員

▽東清線讓渡　東清鐵道の一部即ち第二松花江以南なる寛城子老少溝間約七十五哩の讓渡は既に日露兩國の間に各覺書を交換し假調印を終れるを以て近く成立發表さるべし此事に關し世間東清滿鐵兩鐵道當局者間に直接交渉取極をなしたるが如く傳ふる者あるも斯る事の有り得べき筈なく取極は一に兩政府の間に行はれし事なり滿鐵本社には政府より未だ何等の通牒も命令も是なき由なるも讓渡實行につき滿鐵の之れに關係すべきは當然の成行にして其の讓渡線は滿鐵本線の延長を意味する事となり經營其他一に滿鐵において之を爲すべきこと言ふ迄もなき事ならん滿鐵當事者は本件につき多くを語らざるも豫め準備をなし實行に當りて支障なきを期し居るものと認むべき理由あり

▽張將軍の近時　奉天の盛武將軍張作霖の態度は相變らず煮え切らざること夥し宗社黨の一味と陰然氣息を通じ居るは掩ふ可らざる事實なるも中央の形勢猶ほ混沌たるが爲め前途を測り兼ねて未だ思ひ切つたる態度に出づる能はざるなり彼が日本に對して如何なる思惑を有し居るかは頗る疑問とする所なるも我政府が黎總統を援けて時局收拾の爲に好意的助力をなすに決せりと傳へられてより張將軍は俄かに親日的態度を表現し來り特別行政地域たる東三省の開發も日本の力を藉らざれば其の目的を遂するに由なしと稱し近來日本側に向つて頻りに秋波を送りつゝある模樣あり勢ひに隨つて常に變化を巧みにする彼の事ゆゑ心事の程は測り難きも昨今の親日態度だけは慥なる事實らしく去月末の投彈事件の如き彼は之を日本人の所爲ならんと邪推し邦人に向つて猜疑の眼を睜りたるが今日はそれを忘れたるが如く日本人といへば喜んで之を迎ふると云ふ有樣なり因みに投彈事件の犯人は其後搜索の結果擾てより張將軍の行爲に慊らざりし奉天法政學堂の生徒の仕業らしく又之の際には或る相當の地位に在る支那人關係せるが如しとの説あり事件の眞相は追て判明するならむ、猶ほ奉天省附近は近時何となく不穩の狀あり開原邊には故金壽山の遺子金鼎臣及び張子軒等匪を集めて何事をか爲さんとし興京撫順間には班開臣等の率うる二百餘の馬賊徘徊し輝南縣下にも南復州莊河、岫巖各地にも馬賊其他の黨類何事をか企謀しつゝある模樣にて各天公署に警報櫛の齒を引くが如く頻來する爲め張將軍は其の討平鎭撫に苦心し擾亂一たび發生せば容易ならざる大事を釀すべしとて非常に惧し居るものゝ如し彼が昨今日本に頼らんとする態度を現示し來れる一は之が爲にあらざるなきか猶ほ彼は之と共に馬賊懐柔策を行はんとし既に成向の巨頭に對し招降を試むるに至れり

●總督邸晩餐會

寺内總督は二十四日午後七時より聯隊長會議の爲め入京中なる各旅團、聯隊長を官邸に招待、晩餐會を開けり山縣政務總監、井口軍司令官、立花師團長、白水參謀長等をはじめ總督府各部長官、局長、所屬官署の長、東拓、鮮銀總裁、副總裁等も亦參列總員六十餘名に達せり

●朝鮮産金激增　前年に比し百卅萬圓增

朝鮮全道に於ける産金額は春來非常の好況なるが近時愈々盛んとなり五月中朝鮮銀行本支店の買入高を聞くに二百六十三貫六百六十一匁其の金額百零七萬八千二百十五圓にして之れを前年に比すれば著しき增加を見更に一月以降の累計は一千百六十六貫六百四十一匁其の金額四百五十四萬五千三十八圓に上り之れを前年に比する時は量に於て三百三十貫餘金額百十六萬圓を激增し居れり

●忠州煙草の聲價　受入鑑定價格上る

大藏省專賣局神戸支局にては忠州煙草耕作組合の生産葉煙草一萬餘貫を買上のことゝなり、同組合にては既に荷造發送せしは當時既報の通りなるが其葉煙草は過般神戸に到着、支局に於て受入等級鑑定の結果、從來組合内の等級に比し遙に上級の鑑定を受け價格亦鮮内の市價に比せば大に高値なりしより同組合にては之れを名譽とし非常に喜び合へりと

◎京城道路工事　南大門通り

鮮銀より鍾路間に於ける土木局の道路工事は目下暗渠下水溝敷設を盛んに行ひつゝあるが其の竣工期は十一月なるべし

◎治水事業の根本計畫　十三大河川踏査報告書完成す

大正四年度より着手したる鮮内十三大河川の調査事業は目下も引き續き行はれ諸般の作業着々進捗しつゝあるが同調査の根源たる踏査事業は本年五月末を以て一段落を告げ、爾來報告書の作成に努めつゝありし處今回愈々其の完成を見たるを以て不日總督に提出、適當の時期に於て土木會議開催の運びを見る可し本踏査の報告書は主要河川の水源、流域、水運、灌漑其他各般の梗槪を網羅し治水、水利の大體計畫を定めて以て將來の調査並に經營の基礎たらしめむとするものにして土木會議の結果は鮮内に於ける治水、水利の根本的方針確立さるゝに至るべし

平壤

▲山根中將來壤　後備陸軍中將山根武亮氏は六月廿四日午後三時十分發列車にて來壤三根旅館に小憩し午後四時寺洞鑛業所を視察同所に一泊▲銅牌受領　平安南道江西郡長安面石誠安里漁業劉漢柱は曩に東京に於て開催された海事博覽會に乾鰕を出品したるが審査の結果成績良好と認められ同會より此程道廳を經て銅牌一個授與されたり▲司法官出張　平壤地方法院判事大谷信夫通譯官深江常吉書記加藤哲也の三氏は民事々件檢證の爲め廿四日黃海道安岳郡大遠面へ出張▲將校宿舍建築工事　平壤步兵第七十七聯隊將校宿舍建築工事は基礎工事を終了を告げ石工及び練瓦工事は目下着々進行し建築に着手せり▲技術練習　平壤步兵第七十七聯隊將校一下士二兵卒四十名は六月三十日機關銃駄馬將校乘馬取扱踏鐵術練習の爲め龍山步兵第七十八聯隊に出張を命ぜられたり

大田

▲巡查補志願者　大田警察署にて巡查補採用の旨發表以來十一名の志願者あり右に對し二十五日試驗の上答案は直に本道警務部に送附の筈▲鐵道貨物　大田驛五月中貨物發著總數は五千五百五十四噸にして發送一千八百六十三噸内局用九百二十八噸到着三千六百九十一噸内局用一千七百十一噸にして昨年同期に比し發送八百五十一噸到着千二百六十八噸を各增加せり▲精米株式　大田精米株式會社は從來五千圓の株式にて從業し來りしが今回有志及從來の精米業者にて一株五十圓株とし四分五厘拂込にて一萬五千圓となし規模を擴張し從業の由

春川

●春川分會の基礎　憲兵中尉直井龍人氏を會長とせる在郷軍人春川分會は組織以來茲に五年を閲し分會の事績大に揚り上下親睦を旨とし會員の不幸を哀み慶事を祝ふ等殆ど期せずして鞏固なる基礎漸く固く成績頗る良好なる狀態なるが現在の會員は官公所奉職の者五十七名地方側三十八名計九十五名なりと▲乘馬委員來春　軍司令部附乘馬委員千輪砲兵大尉富岡一等獸醫は當地各隊乘馬視察の爲め二十二日京春自動車にて來春いろは旅館に投宿▲經理檢查官來春　經理檢查の爲め巡視中なる軍司令部附中村二等主計正石井一等主計川北二等主計外下士二名は二十三日午後撥口方面より來春萩野旅館へ投宿二十四日より三日間當地各隊の經理檢查を行ひ金化方面へ向ふ▲新憲兵の配置　今回修業を了へたる憲兵上等兵十四名は二十日隊本部へ到著即時管下各分隊へ配屬せられ二十一日其々任地へ向け出發せり

●鱲子製造有望

京畿道振威郡の西面及び玄德面にては從來鱲子を産し鮮人上流家庭の嗜好に供し居たるが同品は内地の長崎地方より多量に移入し來り内地人の需要に應じ居れる程なれば必ず此生産額を增加し製法も亦一段の改善を行はゞ當然需要の增加す可き見込にて京畿道水産係にては目下指導獎勵中なりと

●地方土地委員會

臨時土地調査局にては七月中旬より左記各道に地方土地調査委員會を開會すべく目下切りに準備を進めつゝあり

▲忠北 忠州 ▲全北 群山、高敞、金堤、鎭安、長水、扶安 ▲慶南 居昌、河東、固城 ▲全南 谷城 ▲黃海 殷栗

●舊商議員表彰式

京城商業會議所は來る二十九日午後六時より朝鮮ホテルに於て元日本人商業會議所に關係ありたる會頭顧問約五十餘名に對し表彰狀並に記念章の授與式を行ひ終て晩餐會を催すべしと

●釜山支局より　一記者

釜山商業會議所會頭選擧に對する迫間房太郎氏と大池忠助氏との競爭は日を追ふて益々激烈を呈し昨今何れも必死の運動を爲しつゝあるが目下の形勢より是を觀れば大池氏依然として優勢なるが如きも會頭の椅子は結局同氏の物なるや迫間氏は有ゆる手段を講じて大池氏を斃らんとしつゝあれば選擧期日迄には如何なる形勢の變化を來たすやも知るべからず斯くの如き形勢なれば識者は頭首水野巖、伊藤祐義の二氏が同志を糾合して折衝兩者の間を斡旋し妥協策も遂に不成功に終り其の鋒手を引くの餘儀なきに至りたるが一部の議員中には寧ろ此際中立たる香椎源太郎氏若くは河野竹次郎氏を推擧する方適當ならんと唱導する者あるも大池、迫間兩派に屬する議員は何れも是に贊成せず聞く迫間派を仰はんとしつゝあるを以て容易に物になる模樣なきも場合に依りては或は香椎氏の躍出を見るに至るやも計り難し何れにせよ今後の成行は頗る注目に値ひすべし

人事消息

▲永谷動殿（慶尚總監部警務課長）元山方面へ出張中の處二十四日夜歸任
▲伊藤智治氏（三井物産社員）二十六日朝入京
▲吉岡淸英氏（國民保險社員）同上
▲セー、アール、フオルクス氏▲ユー、デー、ピープルス氏（以上米國商人）入京中の處二十五日朝退京
▲木尾良之助氏（代議士）二十五日朝大邱へ
▲殿佐源氏　二十五日朝東京へ
▲廣田直三郎氏（釜山中學校長）二十四日朝入京佐伯旅館へ
▲矢野久三郎氏（釜山稅關長）廿四日夜釜山より内地へ
▲川上新太郎氏（内鮮遞信郵便）廿四日夜釜山より内地へ

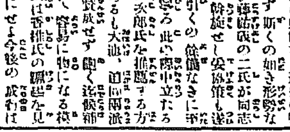
□長春行列車より（木村理事一行消息）　外一名生

濟南下車驛頭紅裙四五日傘さして佛す。ブロークン、イングリッシュの世界を離れてやうやく日本に入れるなり。その嬉しかりしこと。山東沿線大牢皆日本人、半白の老婆もあれば學校通ひの小供もあり。ヤハリ戰には勝ちたきものと思ひ候。青島の施設堂々たるを見ては今後獨逸が捨てゝ顧みざるべきを疑はしく、何だかうしろめたき感致し候。目下山東一番は制錢問題などにて相當賑ひ居り候やうなれど、在留日本人の措置といひ、我官邊の態度覺悟といひ、聊われらに腑に落ちざるもの有之候が景色のよろしきと風の涼しきのみは悉く腑に落ち申候。青島より大連に渡り營口に立寄り、只今長春に向ひ居り候。その後名句も無之、あまり月並にて發表を躊躇するもの二三を列ぬるの餘儀なきに立ち至り申候。

夏草や轍は虎皐より楓樝へ
吳姬漁り門を出づれば夏の月
風涼し齊魯東海の波よせて

■總督府廳舍地鎭祭　大槐
○五月雨るゝ程基礎固めの起工式
○起工式晴るゝ五月の車馬の音　虎耳

●奥樣孃樣にお知せ申ます

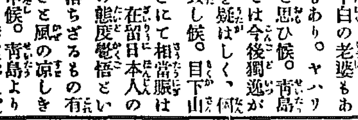


はいから、な新しい女の多い米國の或る婦人雜誌で婦人の心得を懸賞募集しました其一等賞はパンを燒く事と料理の出來る事を婦人第一の要件とし其次には女らしく禮儀作法を守る事等でありました洋の東西の古今を問ず料理と禮儀作法は女子の心得ざるべからざる事であります此必要なる料理と禮儀作法を習ふのに一番便利で實際役に立つの發行は板垣伯夫人會長の東京本郷元町一ノ三東京割烹講習會の發行講義錄であります一年卒業半年修業で會費は僅か一月卅五錢三月一圓六十五錢一年三圓六十錢なり入會は便利で「はがき」に講義錄送れと書て申込ば直ぐ會員として送本し會費は集金郵便で取り立てます規則と内容見本を見たき人は「はがき」で申込次第無代送本します目下夏の料理と夏の禮法の新學期故入會の好時期で此際の入會者には五大特典があります

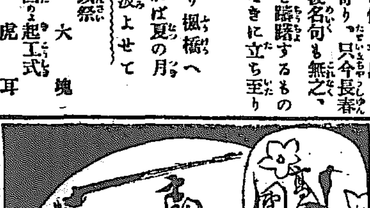
法人登記公告
原州地方金融組合登記事項中業務區域ヲ江原道原州郡一圓ニ變更ス
大正五年六月二十日登記
京城地方法院原州支廳

□ジヨキニカケテムシタムギ
□エイセイジヨウヒメシマセ
□世話にて御注文は多少に不拘御屆仕候
□はがき御注文は切手代御返し申候
滋養 衛生 用應
大福麥
京城南大門外
池田製麥所
電話七五二番 振替口座九四七番

パナマ
七拾錢
各種均一 送料實費
半打以上は割引定價表送附
東京神田和泉町一
茂木製帽合名會社



長壽靈品は「ヨグルト」
京城若草町
荒井牛乳販賣部
電話一〇〇四番
滋養と健康の母は「荒井の牛乳」



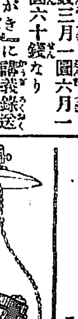
扇子 團扇
寡頭雜貨 酒類卸
仁川港富澤商店
電話二三六番 振替京城二四六番

印入大勉強

ONOSALVIN
白檀油代用藥
ゴノサルビン
内服淋病治療劑として其効果を公認せられたる白檀油と化學的集成を等ふす治療的効果白檀油と相伯仲し殆んど消化障碍なき特徴を有す本邦産植物より發見せる純内國産なれば價格低廉なり夫故に本品は最も優秀卓絶なる白檀油の代用として
好評嘖々たり
●文獻見本進呈す
發賣元 大阪市外中津町光立寺 三友製藥合名會社
特約店 大阪道修町 武田長兵衛 東京本町 小西新兵衛

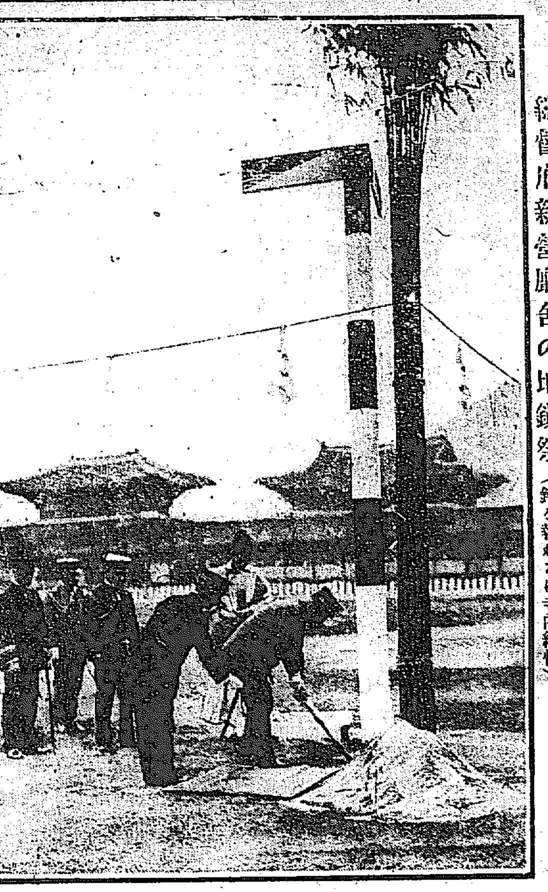
移轉
龍山元町二丁目六五（舊民團役所前）
杉本齒科醫院
齒科醫學士 杉本爲
電話十七

實業之日本
最新の電氣療法 醫學士 樫田十次郎
夏季に於ける皮膚の衛生法 古宇田病院長
藤瀨政次郎氏（人物月旦）……海の郷人
有利なる西洋蔬菜の栽培 …… 薮柑子
今樣成金物語 波瀾萬丈事實は小說よりも奇なり
青年立身の秘訣 男爵 森村市左衛門
立志美談 砂糖王 秦秋生
大會社の社員採用秘密物語
人造肥料界の事業と人物 …… 瓊川
小賣商店繁榮の秘訣 …… 紺屋町人
小規模の氷店開業法 …… 松尾生
安田善三郎君 猿面冠者
日本の危機 …… 正金頭取 井上準之助
新社會訓 新渡戸博士
職分を樂む修養 法學博士 浮田和民
青年世に出る準備の眼目 ……增田社長
六月十五日發行 一冊三十錢 郵稅一錢 半年一圓八十五錢 東京京橋 實業之日本社



廣告用 地上寫幻燈器械
壹組金（卅三円）以上各種（目錄進呈）
大阪市新町通二丁目
寺田清四郎商店
電話西一四三、一四三一

婦人公論
讀物本位の◎七月號◎特色を發揮せる
現代女子教育に對する女學生側の不平（他六女史）……鳩山春子
我輩の女性觀……大隈伯爵
住宅の改良……伊東博士
氷の話 西中主任……妖怪變化 井上博士
西洋の母と其趣味……中根環堂
夫のあとを慕ふて 坪内ホームス……島村抱月
續カチューシャの話
日本婦人の美德 ……本日南
妻の資格
□政治家の妻……島田三郎
□實業家の妻……澁澤男爵
□文學者の妻……德田秋聲
□軍人の妻……櫻井大尉
□大正新女大學……高島平三郎
□物あつての生命種……茅原華山
□娘を嫁入らす爲に……山脇房子
□若い女の墮落の徑路……山室軍平
□汗の化粧（ルイズ・マイ）……婦人記者
小說 情炎……長田幹彦
舞殿……小笹川臨風
若妻……小栗風葉
二人の女（新短篇小說）……小山内薫
いつまで……田村俊子
定價二十三錢 郵稅一錢五厘
東京市本郷區西片町十番地
中央公論社



總督府新營廳舍の地鎭祭（鍬を執れるは寺内總督）

●崇嚴なる地鎭祭

寺内總督以下の臨場

雨は降り出しけれども地久節の佳辰、寺内大將の元帥府に列せられた喜びのまだ失せぬその日、此の榮ある國家の元勳を主腦に戴き、やがては深遠なる大陸政策の發祥地ともなるべき主班植民地の中央政廳朝鮮總督府新築廳舍敷地の地鎭祭は六月

▽二十五日午前九時

から舊王城景福宮内に於て嚴粛に執り行はれた、祭場には古色蒼然たる勤政殿前十餘間の箇所に南面して設けられたる木目も鮮かに匂やかなる白木造りの祭壇あり、いと嚴かなる神籬を置きその前面神饌案それに隣る玉串案の前より數歩離れて二基の大眞榊は五色の色布美しう微雨に濡れて緑の葉色いよ／＼鮮かなるも清らかである、それより十數歩を隔たつた廳舍の玄關先に當るべき所に

▽瑞々しき青竹を

以て之れに代へた大鳥居、廳舍外廓に當る箇所に立てられた竹垣にも注連繩が張り廻され、敷地の背後一面に張られたる鯨幕と共に森嚴襟を正さしむるものがある式の始まる三十分程以前からそぼ降る朝の雨を冒して馬車、自動車、腕車を驅つて集つた人は森、高橋兩武官、池邊秘書官、大藤副官、藤波通譯官を隨へた寺内總督、遠藤秘書官を隨がへた山縣政務總監、此の日の

▽祭式の司人たる

べき兒玉總務局長、持地土木局長並びに關係諸員石塚、荒井、宇佐美、國分の各長官及び各所屬官、署長官局長、高等官、各課總代の判任官李王職より閔長官、小宮次官以下の主なる職員、駐箚軍より井口軍司令官、白水參謀長以下の幕僚、佐藤衛戍病院長、中樞院副議長李完用伯以下の同顧員顧問、賛議、朴齊斌男その他の朝鮮貴族、東拓より吉原野田の正副總裁並びに各理事、原田朝鮮社長、岡京城電氣專務、其他府協議員、學校組合評議員、商業會議所評議員、新聞記者通信員主なる實業家等

▽無慮二百餘名こ

註せられそれ／＼設けの席に就けば開式を報ずる第一の神鼓鼕々と鳴り響きて諸員一同威儀を正す間に第二鼓に連れて修祓を終り更に嚴かに傳へらるゝ警蹕の聲、祭殿横の伶人舍の伶人の奏する管絃の樂と共に總督以下諸員起立敬禮の裡に崇嚴なる降神の式を行なひ、之れが終ると奏樂の間に數々の海つ物、山つ物等を獻じ終れば諸員起立の裡に谷村齋主神前に進みて柏手高らかに打鳴したのちに祝詞を奏し、而して當日第一の重禮たる鎭物埋納の式は新廳舍設計參與者たる總督府囑託野村工學博士の案内で齋官鍬を執り總督、總監、總務局長、土木局長の順で建築敷地東西南北の四隅に五寸角の花崗石を埋め、ついで齋主總督、政務總監以下參列諸員

▽玉串を捧げ終り

それより奏樂裡に神饌を撤し終れば最後に警蹕、管絃奏樂諸員起立敬禮の裡に昇神の式があり、ついで起る第三鼓の音と共に諸員退下したのは九時四十五分であつた

●朝鮮醫學會

宿題に對する研究報告

朝鮮醫學會講演會第二日は前日の如く午前九時より總督府醫院構内醫學專門學校に於て開會し各醫博士以下各道慈惠醫院長等の十二分間宛の講演あり各講演に對する聽講者側より討論等四十四題に對する各種の研究報告講演は午後五時を以て終りを告げたり役員改選の結果會長に芳賀博士副會長に森安佐藤兩博士再選せられ幹事に稻本、池田、富永、松井、菲の五氏當選し並に評議員三十名の改選も行れたり講演會は午後五時半芳賀博士閉會の辭を述べて終了せられたり

●百穗畫會盛況

盛會裡に廿五日閉會

二十四日二十五日兩日京城ホテルに於て開催したる平福百穗畫伯作品及び東都諸名家作品陳列會は豫想以上の好成績を以て廿五日午後六時閉會したり殊に百穗畫伯の作品は希望者非常に多く第一日に早くも殆ど賣約濟みとなり居たるを以て失望したる人々頗る多かりし當日は李埈公殿下水越三島兩理事隈部警務部長楠覆審法院判事永沼覆審法院判事和田常市氏古城營堂氏鮎貝房之進氏等の來觀ありたり

●力士雨に惱む

鎭海興行の初日延びる

釜山を打揚げて鎭海に乘込んだ西の海大錦一行は廿一日以來霖雨に閉ぢ込められ小屋掛其他の準備が整つてゐても雨は容易に霽れ上りさうもないので初日を打つ見込も立たず、力士連は毎日空を睨んで溜息を吐いてゐる、それに引替へ次の興行地なる大邱では連日和續きで人氣が湧くが如く氣の早い連中は相撲小屋見物に押掛けるといふ始末、勸進元から手紙や電報で手酷しい督促が來るので取締年寄連は閉口してゐる（鎭海）

●白晝の三人斬り

被害者は何れも重傷＝加害者直ちに逮捕せらる

二十五日午後三時頃旭町二丁目七十九番地飴屋仲子兼太郎(卅)方へ隣家なる洋服商重永順平が鋭利なる職業用の庖丁を携へて躍り込み何事か仲子と云ひ爭ひたる末仲子の

▲胸部を二箇所 斬り付け之れを見て驚き起き上らんとせる仲子の妻を引き倒しさま力任せに左の乳上を突き刺したるが兼太郎は重

傷に屈せず躍り蒐つて順平の庖丁を捥ぎ取らんと格鬪中 妻は外へ飛び出し筋向なる山形雜貨店の土間に入りて倒れ兼太郎も隙を見て同じ場所へ逃げ込みて打倒れたり、然るに加害者順平は血に染りたる庖丁を揮ひつゝ尚ほも兩人を追跡せんと立出でたる際折惡しく同家に來合はせし同番地に住む加藤裁縫師の妻を見るや

▲眼眩みし順平 は物をも云はず突然背部に斬付け同女が驚いて逃げ出すと同時に順平は何處とも知れず姿を晦ましたり、急報に接し本町署より係官出張し同町の瀬戸醫學士が驅け付け被害者に應急手當を加へしが兩人とも却々の重傷にて兼太郎は急所を外づれ居れば腦炎を併發せざる限生命は取り止め得べきも妻は人事不省にて生命覺束なし 殺害の原因に就き近處の噂に依れば仲子は常に夫婦仲惡しく特に妻は夫の目を偸みて他に情夫を拵へ居るを兼太郎が近頃に至り感付き不行跡を詰りたるに妻は隣家の順平に口説かれ據なく情を通じたりと

▲出鱈目の言譯 を爲せしより順平に對する兼太郎の態度が一變したるが順平は聞き一方ならず憤怒し居たりと云へば或は是等が殺意を起すに至りし動機となりたるものらしく又順平は平素頗る温順にて近所の評判好く倖は某銀行に勤め居れりと尚ほ一時行衛を晦ましたる順平は間も無く本町署の手に捕はれたり

●全北の大洪水

被害五萬町以上に達す

全北益山郡の大洪水被害は家屋の全潰十六戸、同上半潰二十七戸、同上破損四十戸に達し、家屋の浸水せるもの百九十六戸に上れり更にこの外田畑の埋沒又は流失せるもの或は浸水し被害ありたるものを加算すれば五萬町以上に達すべくとの外宅地山林原野の被害も尠なからず、道路の如き破損又は埋沒流失決潰せるもの十七個所、堤防の同樣被害六個所、鐵道の同樣被害十個所に上り橋梁の流失破損二個所あり農作物の被害亦尠なからず高敞郡の被害も亦甚だ多く死人三名を出し全潰家屋八戸、半潰家屋十四戸、破損家屋四十七戸、浸水家屋二百三戸を出しこの外道路の被害二百十六箇所、堤防の破害百十五箇所、橋梁の流失二十一箇所同上破損四十六箇所に達せり

●拐帶女

慶南金海郡左部面東上洞居濱野勇次郎内縁の妻赤崎すい(二)は釜山某旅館に奉公中の客引某と相通じ居れるが去る十五日濱野の留守中すいは夫の所有なる現金二十七圓餘及び衣類十七點（七十餘圓）を拐帶して行衛を晦ましたるを歸宅したる濱野が發見しすいの取押へ方を其筋に願ひ出でたり

●斧こ靴

京城松洞李源德(三)は六日午後四時頃臥龍洞にて勸農洞李敬善所有の斧一挺を窃取し、尚同日雲泥洞の質屋葵文榮方に赴き同家の靴を自分の破れ靴と穿き替へて之を安國洞の質屋に入質し鍾路署に檢擧されたり

●屍體漂着

去る二十一日仁川署管内富川郡多朱面長位里海岸に六十年位の鮮人男の溺死體漂着せるが何れの者とも判明せず屍體は仁川署にて檢視の上面長に引渡したり

●出獄して竊盜

忠南扶餘郡王山面堂小里生れの鑛夫趙東仁(三)は强盜罪に依り懲役五年の處分を受け此の程漸く出獄したる許りなるが去る五月一日同道舒川郡東面板橋里某方に忍び入り衣類箱一個を窃取したる爲め公州地方法院に於て懲役四年の判決を受けたるより之に服せず京城覆審法院に控訴したる所此程前判決取消し懲役一年の處分となりたり

●僞手紙で騙る

京畿道振威郡內南面柳川里俞寬敬(三)は同面平澤里の米商李學模方に出入し信用あるを奇貨とし五月廿五日柳川里尹振鎬(三)と共謀し同人に僞手紙を寄越させ之を種にして寬敬は李學模より現金五百圓を借用名義にて騙取し三百五十圓を自分の手に百五十圓を振鎬に交付して天安に逃走中此程取押へられたり

●勳八等の懲役

原籍長崎縣北高來郡有喜村平民當時住所不定無産商佐藤作四郎(四)は三十七八年戰役の際勳八等白色桐葉章を賜はりし名譽の在郷軍人なるが本年一月七日釜山南濱下宿屋岩井きぬ方に投宿し同月廿七日まで滯在し宿料金三十圓五十錢を踏み倒したるため此程懲役四箇月の判決ありたり

伊國とボ、ヘ二州

［談した者と聞いた者］ ‖小松翰長談‖

▽二十四日夕刊貴紙に拙者の談話さして掲載せられたる『改造された伊太利』と題する記事中に『國民は墺太利に對してボ、ミヤ、ヘルツヱゴビナ二州を奪はれた舊怨云々』とある。拙者が記者に話せる中に斯の如き地名を言外したることなきに如何なる間違にや

▽ボスニヤ、ヘルツヱゴヴヰナ（ボヘミヤは全然別地である）は素と土耳古領にして千八百七十八年の伯林會議に於て墺太利の保護國となり、千九百八年十月墺太利領に移りたるものであるから、此二州は伊太利と何の關係もない。

▽此の誤解に就いて思ひ當ることがないでもない、それは『伊太利國民は其の嘗て失ひたるトリエスト、チロル、ダルマシヤ地方を何時か墺太利より回復することに苦心焦慮して一日も忘ることなし』との意味を語つたことである。

▽伊太利對墺太利、及び墺太利對巴爾幹列國の關係は非常に錯綜複雜してある爲め歐洲國際關係の專門研究者と雖も其眞相を了解するに苦しむ所であるから、日々の出來事に就き其の當面の事情を急報するを任務とする新聞記者が時々聞き誤り又は思ひ違ひを爲すことは無理からぬことであつて多數の讀者中には右等の國際事情を充分了解せぬ人もあらうと思はれる、之れ時に自分が辯明を試みむとする所以であるから序の折に訂正して貰ひ度い

記者曰く。氏の談話其儘を掲載して同記事の訂正に代ふ

角力雜記帳

▽龍山出身の有望力士

來年は十兩に入る鎭西山角力取も幕内になると常人の身の光りも出てくるし、世間からチヤホヤされて人氣は自然に集まつてくる、手を慎にして澄し込んでゐても後援會だの連中見物だのは何處からか拵らへてくれるものだといふ事である、新聞などで好取組とか番狂はせとか言つて二號三號でその名を載せてくれるが幕下が

▽十兩を 幒がしたつて三號活字を用ふる様な新聞は先づ無い、幕下の角力と言ふものは慘めなものであるけれども彼等には孰れも洋々たる前途がある、二段目に上る、十兩に飛び込むかと言ふやうな時代が一番愉快なのであらうな、所謂好角家といふものもこういふ連中から有望なのを見附け出て、その面倒を見て遣り一人前の角力に仕立てやるのが通の通なるものであるとか、此の意味から別に通を氣取るでもなく

▽最負に するわけでもないけれども今度の一行の幕下力士の中から有望と言はれてゐるものを拾ひ出して見る、位置は未だ低いが唯一人の朝鮮から出た力士として龍山の鐵道部內から出た力士、然かも今場所三番の勝越しで來年一月場所に十兩に入る鎭西山新藏(三五)の事を第一番に擧げたい、同人は熊本縣宇土郡網津村土本清三郎氏の七男でその兒の土本宮藏といふ人は現に鐵道局の書記である、熊本市の鎭西中學校の四學年まで修めたが體格はよしで中學四年の時分には初段となつた

▽力量も 多く柔道好きが四十三年の三月兄を賴つて龍山に來て鐵道の雇員となつたものゝ元々角力が好きなのと局內で勸める人も多かつたので家族の反對するのをその年の末に敢て常陸山の門に入り鎭西山の名を貰つて翌一月場所には序の口に附け出されたがそれから場所毎にトン／＼拍子で出世をして十二場所の來年春場所には十兩に入る事となつたのだ、目下の體量は二十三貫五尺七寸で

▽相撲振 は出足の早い事と突張の鋭い事で四ツ身にもうまい所がある、大錦などゝ同じく多少文筆があるので常陸山の秘書役の樣な事をしてゐた事があるが本紙には巡業日記を寄せてゐる、龍山は遉が出身地丈に贔負も多く鐵道の高官連も大分目をかけてゐるが今度も化粧褌を贈る事になつて居り同郷の川俣代議士母校の鎭西中學校からも今年の成績を祝して褌を贈られたさうである何しろ

▽大錦に 師事して熱心に稽古を勵んでゐるから病氣でもしなければ兩三年の内には幕に入れる有望力士であるそれから矢張り五月場所の好成績で來年入幕する駒泉德次郎(三四)は宮城縣遠田郡北浦村の生れで四十三年の五月に放駒々樣の弟子となつたのだが不幸途中に師匠を失つたので今では西の海に引取られたのだが昨今愈々身體も出來て膂力優れ立派な幕内角力らしくなつた京城では殊に贔負も多く

▽喜久家 の姉弟などは此子の樣に面倒を見て遣つてゐる、此の外來年入幕する一港、大門岩を始め常陸山の愛弟子常の花幕下では來年新十兩となる龗柳、玉柳並びに羽州山、若常陸、御西山、光風、その他に大分居る

登録商標 猿印のみとり粉

蚤、南京虫には

登録商標 猿印殺蚊線香

うるさい蚊には

効力確實醫科大學證明
内外國博覽會賞牌受領

製造始祖 上山靜藏 鑑製

販賣處 各地特約店

製氷界の親玉

各病院御用達

朝鮮製氷社

京城漢江通

長電話五二三番

◎衛生的經濟的冷藏函及冷水 販賣仕候

◎我が製氷社製氷は天然氷より長時間保存に耐ゆるは實地試驗の結果證明する處なり

内科小兒科 皮膚病花柳病 入院隨意

京城日出小學校前 多々見醫院

院主 醫學得業士 多々見五郎 電話九四〇番

府が如何に苦心するも之が一掃せるカフェー店バアー等は一層［illegible］撲滅は到底期し難き所なるも今後は一層取締を厳にする由（大阪）

［illegible］檢事局に送らる

［illegible］取調中の處去る廿三日も此程高陽警に檢擧さる

●あやに尊き

御坤德

□地久節のおよろこび□

□廿五日は皇后陛下第卅二回の御誕辰に相當しますので芽出度い地久節のお祝ひ日で御座います

□當日陛下には桐の間に出御遊ばされ參賀の各皇族殿下を始め臣下の者に拜謁仰せ付けられ畢つて豐明殿にて立食の御饗宴が御座います

□昨年は恰も御産殿に在しましたので拜謁の御儀もあらせられませんでしたが今年は今上御踐祚後最初の御儀であります故一層の御盛儀であります

□陛下の御誕生は實に明治十七年六月二十五日で御座いますが三十三年五月一日御年十七歳にして皇太子妃となられました

□陛下が温良聰明に在しまして貞淑の御德高きとは國民の均しく敬慕し奉るところで御座いますが猶ほその優れて御健康に在しますとは洵に悦ばしき極みと申さねばなりませぬ

●地久節を家族會

午後二時には滿員の盛況

□愛國婦人會の家族會は廿五日地久節の午後一時半から催されました

□會場壽町の壽座には既に定刻前から大入滿員の盛況で階上も階下にも美しいリボンや白い扇子が蝶々のやうに動いて居りました

□大橋主幹の開會の辭が了りますと田中囑託の蠅のお話が始まり次いで李王職音樂隊の奏樂から活動寫眞へ、箏曲、少女舞、合奏（根びきの松）喜劇等で何れも大よろこびの態に見られました

□殊に昨秋共進會の赤愛總會活動寫眞などは昌德宮秘園を背景とした興味深きもの頗る會員の滿足を買ひました

□午後二時頃からは札止めの盛況を呈して居りましたが會場の斡旋役には石塚、國分、芳賀、豊永、持地、村上、金谷、京口、峰尾、佐々木、中村、山田各夫人達が熱心に立働らいて居られました

●高女の奉祝式

佐々木校長代理の訓話

△京城高等女學校にては廿五日午前八時半より地久節奉祝式を擧げました

△式は先づ君が代の唱歌に始り次いで校長代理佐々木教諭の御坤德に關する一場の訓話あり

△頃は唱歌「藤のゆかり」を歌つて佳節の式を了りました

△當日は生憎の雨が降りましたので生徒のピンポン大會は休みました

△先生方は式後音樂室に集つて茶菓に葡萄酒を酌み交し　兩陛下の萬歳をお祝ひしました

●技藝學校の奉祝會

◇京城女子技藝學校にては廿五日地久節の奉祝會を兼ね同校卒業生の同窓會を催しました

◇同窓會には多數の出席者があつて和氣靄々たる裡に數々の餘興などが催されました

◇次に京城中學校の藤見先生の訓話、幼稚園の大和田先生の作歌、會員の箏曲などが試みられてお終の謡曲も興多きものばかりでした

◇また會場には會員の手になる活花が陳列され可愛らしい夏衲、裝飾、刺繍などが生けられてありました

●地久節と各地女學校

○仁川　公立高等女學校にては廿五日午前八時半より奉祝式を擧げ夜は同校々友會及び愛國婦人會支部の發起にて盛大なる園遊會を催せり

○釜山　高等女學校にては廿五日午前八時より祝式を擧行し高橋校長の訓話ありたり

○大邱　公立高等女學校にては午前八時より新築の校舍に奉祝式を擧げました

○平壤　公立高等女學校にては午前八時半より祝式を擧げ上野校長の御坤德に關する訓話ありたり

○鎭南浦　實科女學校にては午前九時より奉祝式を擧げ午後一時より小學校にて聯合同窓會を催しました

○元山　實科高等女學校にては廿五日午前八時半より祝式を擧げたり

●婦人子供の獻金　明治神宮奉贊會は京城のみにて婦人子供千六百名金高四百餘圓に上り尚ほ續々申込中なりと

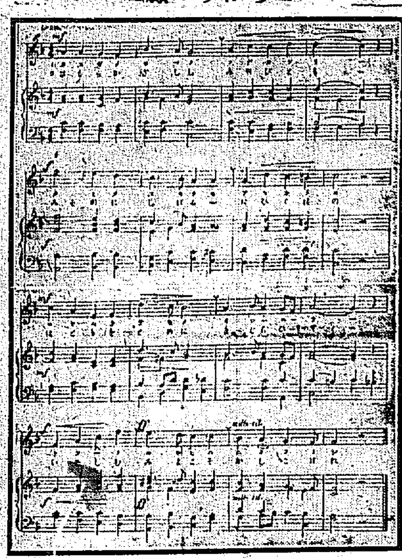
●普通校生徒獻金　慶南草梁公立普通學校兒童百二十八名は愛國婦人會にて取纏め居れる明治神宮奉贊會の擧を賛し同校實習生產品賣上金中より各一錢宛を獻金し此程學校長訓導の獻金を合せ三圓餘を朝鮮本部宛送りました

□藤のゆかり

高女教諭　竹村鹿野先生談

□「藤のゆかり」は昨年頃から一般各地高等女學校の奉祝唱歌として用ゐられて居ります□歌詞は下田歌子先生の御作で女學校生徒にはよく解りますが小學生には如何かと存じます□また文部省から地久節の奉祝唱歌として定められたものでは御座いませぬが幸田延子先生の作曲で大層きれいな美しい歌で御座います

……□□藤のゆかり□□……



○
春日の山の　藤かづら
神のゆかりも　淺からぬ
こき紫の　色ばえて
今日の佳辰に　匂ふらん

○
櫻かざしし　宮人も
御苑に茂る　新桑の
けとり少女に　交らひて
いそしむ御世こそ　かしこけれ

神社と教會とお寺

●開教院（大和町）　日曜殿會及び婦人會の講話あり

●西本願寺（若草町）　午前九時よりの日曜學校大會は少年少女の來會者多く非常なる盛會なりき

—△會いろ〳〵▽—

□學藝會　平壤女子高等普通學校にては廿四日午後一時半より盛大なる學藝會ありたり

□國柱會　勸音町國柱會にては二十五日午後八時より本町二丁目平井支店にて講演會がありました

たいこ その日〳〵

回吸物（海老のつみ入れ小なすび茗荷のこま〳〵）　蝦は頭及皮を去り背腸をのぞき擂鉢に入れてよく擂り少量のうどん粉をまぜ鹽にて味をつけ之を適宜の量だけ飯杓子に掬ひ出し箸に水をつけては少しづゝ煮出しの沸騰したる中へつみ入れ上部に浮き上りたる穴杓子にて掬ひ出しおく。小茄子は小口より一分位厚さの輪切になし煮出し汁鹽にて薄味をつけおく。茗荷は細く薄く切り水に放して灰をぬきおく以上を程よく椀に盛り味よき澄し汁をかけて供す

宮本武藏

第八十回　桃川如燕口記　浪上義三郎速演

宮本武藏は最う進退茲に谷まつたから神佛の冥助を籍て此場の危急を免れるより外いたし方がないから、持てる手拭にて緊子腹を結いて風呂の隅の所に立上つて弓矢武神正八幡大菩薩、摩利支尊天、日光東照宮大權現を一心に祈念をいたして居た……素より忠孝義の三道を一身に擔ふて親に別れ妻子に離れて江戸表を出立いたし、此所でムザ〳〵非業の死を遂げるやうなことがあれば、神も佛もないのだが、不思議に助かつたといふのは、風呂の外に居る面々が

○『大分先生靜かになりましたナ、最う大概死にましたらう』源『ウム、モウ宜からう、釘貫を持て來い……』是から釘を抜き戸を開き、熊手を把て一刀利七がガバ〳〵ガバ〳〵掻廻して居た　利『先生居ませんよ』源『ナニ居ない奴があるものか、能く隅々を採して見ろ』利『ハテナ……溶けましたか知ら』源『アハ〳〵〳〵飴ぢやアあるまいし、溶る奴があるものか』一隅の所へ熊手を持つて來るとガッキリ當つたものがある　利『居りました〳〵』とズーッと此方へ引寄せる時に目をぱつちり開いて見ると蒸氣の間から灯火がチラ〳〵見へ空氣の通ふ様になつたから　武『さては開けた哩』と喜んで、左の手にて熊手の頭を抑へ、右の手で熊手の柄を握つて、エイと擧が懸るが早いか、グイと手許へ引いて、其熊手の石突を以て一刀利七の喉を突く、アッと云ふと後ろへ倒れる途端に宮本は熊手を持て表へ飛出した

○『其れ宮本が出た』と左右から扱連て大勢が切付ける其人々は、牧野金次郎、名畑喜太郎、河村與吉、柳八郎左衛門、高野藤八、清水八兵衛等槍刀を持つて打つて懸るを、宮本は熊手を以て敲き倒し、或は蹴飛し、撞倒し、獅々奮進の勇を奮つて働いて居る内に、白倉が槍をしごいて突いて蒐る、心得たりと熊手を以て渡り合て居る内に打落された　武『南無三……』と思ふ所へ白倉のために熊手をバラリと其處へ突いて來る、ヒラリ體を躱しながら足下に在つた小桶を以て丁と受る勢ひ餘つてスハッと小桶の底を突貫く途端にポンと放したから、槍先に小桶が附着いて上る、是はと逡巡ふ其隙に、白倉の手許に飛込んで目と鼻の間を目懸け拳を固めてエイと突く、アッといつて打倒れる上に乘懸り白倉が腰に差たる刀を抜くより早く首を其へ打落す、所へ又もや横合より一人斬込み來るを體を避はしながら、横に拂つた一文字、胴切となつてバッタリ倒れるを見向もやらず座敷へ飛上つて、衣類を脱だ所へ來る心算で見ると、モウ天井へ火が廻つて居たものか、ごう〳〵と凄まじき音してドーンと天井が宮本の鼻先へ燒落た、是はもう疾から湯殿に火事が始まつて居たんだが、混雜の中だから氣が注かなかつた、其の火が天井裏へ廻つたことゆゑ、突抜いて往かうとしたがナカ〳〵行かれない、衣類大小は勿論一片の煙と化して了ひ、詮方がないから宮本先生眞劔を提げたまゝ庭へ飛び出した、所へ薙刀を小脇に抱込んで現はれ出でたは白倉源吾右衛門の妻照『オ—宮本、兄の仇良人の敵、觀念しろツ』と斬込んだり宮本は　武『心得たり』と薙刀の柄を切拂つて、退がらうとする所を首を打落した、其より往來へ出て見ると、グワン〳〵ボン〳〵半鐘鼓り火事のない所ゆゑ大變な騷ぎで、町奉行が出役となりて宮本の様子を見ると素裸體で眞劔を提げて居る　奉行『ソレ彼の者が怪しいから、彼奴を召捕れ〳〵』といふ下知　其と悟つて宮本が眞劔を投り出してドン〳〵逃出した、スルと名も知れぬ細流があつた、其を渡つて徑路を通つて増位山へ登つて參りました、増位山といふのは播磨八景の一つに數へられる名代の山で景色の宜い所であります、宮本先生振返つて見ると姫路の城下は一面の火に成つたかと思ふやうに風旺んにして火の粉は天を掩ひ空へ梨子地を摺たかと怪しむばかり、一天正に焦げるかと思ふやう。

内科　兒科　婦人科　京城本町二丁目浦尾旅館向ひ　京城醫院　電話七四二番　村上憲佑

南米倉町朝市場通仁濟病院跡　内科外科　花柳病　入院隨意　上野醫院　電話二九三四番

書畫用　絖絹　京染呉服商　たまや出張店　京城永樂町二丁目　電話一九六番

六月廿七日九星　舊五月廿七日乙未　本命五黄　八方除　先勝

▲五黄　遠慮に過たる事有る日新事は合南方は吉暗劔なし▲六白　胴欲の日轉居開業入學名弘求職採鑛皆取大なる金談等萬吉▲七赤　願の日轉居旅行入門名弘求職出漁雄前縁組金談染色業等萬吉▲八白　迷惑なる相談を受んとす新事手控萬事は吉一切の例事せぬがよし▲九紫　先見の備ある日轉居開業入門金件求職採鑛婚禮定期業等皆吉▲一白　虫の好かぬ事有る日新事手控萬事は吉一切のかけ事を禁ず▲二黒　御馳走主賊の事有る日新事手控萬事は吉交際に注意せらるべし▲三碧　厄介なる頼まれ事有る日新事手控萬事は吉保證請印等を禁ず▲四緑　色情の縺れ失物用心の日新事手控萬事は吉女子に欺されぬ[illegible]用心の事

演藝案内

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　櫻井町　大正館　電話八七三

◎六月二十二日より新寫眞［illegible］◎實寫欧米［illegible］◎喜劇二人の［illegible］ツプス　◎［illegible］　▲藤澤淺二郎［illegible］　○新派活悲劇意外の秘密　全三幕卅七場　［illegible］　○泰西軍事大活劇傳令使　全三卷三千尺　◎米國ライスフォード會社傑作　［illegible］　○舊劇忍術名人神通力源太　三百廿七場　［illegible］

本町　壽座　電話五七八

曾我廼家蝶々會　六月二十五日替週　一今様ヴェニス　三場　二意氣地　三場　三撥くさ　二場

明治町　浪花館　電話二六〇番

◎お馴染の恭爲獨演會　六月廿三日より毎夜七時開演仕可候　△前座員出演　△因果裁判、善惡乳兄弟、女天一双子美人（右長講三席京山恭爲）　◎入場料特等の外十錢均一

黄金館　電話一八五二（階上）二六三七（階下）

天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店　Mカシー商會朝鮮一手代理店　○六月二十三日より特別大興行　○實寫ヒーザーの農夫　○滑稽二人プルマー　△米國ユニヴーサル會社特別大作品　△天活會社日本及び日本領土映寫權利附　○世界的大冒險大探偵大活劇『名金』全二十二篇五十卷の内第一二篇［illegible］◎舊劇二代目猿飛佐助　全五卷［illegible］

御成町　御成座　電話一九一

第十六回目替藝［illegible］一番目　此妻子　全七場　二番目　悲劇　恩［illegible］　全二場［illegible］

今や全人氣黄金館に集まる

▲世界的大冒險大活劇

▲第一名金　全五十卷の内引續き上場

舊劇　二代目猿飛佐助　全五卷

「名金」映寫時刻　夜間午後八時より

商標　最上醬油　京城本町三丁目　田中支店釀造　電話七六四番

フエロール及ルーロエフ合劑品目

最新鐵劑　フエロール　時代の要求により調製の新營養劑（醫家應用諸症）　[illegible]精　補血強壯　［illegible］

梅毒症應用新劑　沃度フエロール

皮膚病應用新劑　アルゼンフエロール

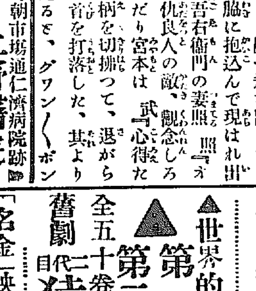
氣管支症應用新劑　グヤコールフエロール

フエロール　大　半月分　一圓七十錢　小　七日分　一圓［illegible］
沃度　アルゼン　グヤコール　瓶　各　大　半月分　［illegible］　小　七日分　一圓二十錢
◎右劑は有名の各藥店にあり　若し無き地方は本舖へ御注文あれば小包送料自辨にて送附す（代金は振替口座大阪九一九番へ拂込あれば切手代用差支なし）

創業元　大阪東區道修町　藥劑師　小西久兵衛

内科　小兒科　入院隨意　京城明治町（元普濟醫學校跡）　島醫院　院長　中島貞信　電話三七八番

大日本優等清酒　白鶴（ハクツル）　品質純良　衛生無害



攝津灘御影町　釀造元　嘉納合名會社

京城本町二丁目廿番地　發賣元　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

國產奬勵と朝鮮牛

朝鮮牛の特徴

▲見落す勿れ畜産農業界▼

▲性質温順にして勞力粗食に耐へ酷暑三伏の候と雖も原野に臥するも疲勞病魔に侵さるゝ事なし

▲爪の堅牢なるは岩石を割るが如き堅固無比なるが故に數十里の山路石道にてもウツを穿たしむる必用なし

▲近來朝鮮牛の佳良なるは諸點の完備せるに依る之れ農家畜產界の一大福音として賞讃せらるゝに依る

▲輸送は朝鮮及び日本内地に於ける鐵道運賃の特約と關釜間にに於ける輸送は汽船により迅速確實を以てせり

▲農業家畜產界の諸彥益々御引立あらん事を奉願上候

活牛移出問屋　釜山鎭驛前　上杉古太郎商店　電話一〇三七番

村井弦齋先生命名實驗證明　かつけよ　尾崎腳氣藥　販賣元　東京中澁谷町　尾崎兄弟商會　全國藥店に有

報

［illegible］

（卯六年）　日出　日入　干潮　滿潮　［illegible］

●昨日午後低氣壓は徐々西岸に接近せし爲め昨夜來再び南鮮一體に降雨あり該低氣壓は［illegible］及び内陸

●［illegible］▲低氣壓の［illegible］▲進行方向東北東▲警戒區域忠淸南北道全羅南北道慶尚南北道の沿岸

祝安州之發展
內國通運株式會社 新安州孟中里 安州 取引店
廣安號運送店
倉原恒雄

祝安州之發展
京義線新安州停車場前
价川鐵道停車場前
松月旅館
電信略號ショヌハシ

祝安州之發展
氷貯藏
清涼水製造販賣業
平壤櫻町瑞氣通
田中菊太郎
電話六一〇番

祝安州之發展
安州城內
和田醫院

祝安州之發展
和洋御料理
三日月樓
安州城內

祝安州之發展
吉田豊
安州城內

祝安州之發展
公醫 星野醫院
安州城內

祝安州之發展
朝鮮人向雜貨卸商
朝鮮安州城內
久田茂壽商店
振替口座京城一二一七番
發電略語(ヒ)

祝安州之發展
鮮人向諸雜貨煙草販賣
美馬豊一商店
安州城內

祝安州之發展
京義線新安州停車場前
价川鐵道新安州停車場前
安州旅館

祝安州之發展
和洋菓子製造卸小賣
高岡龍盛堂
朝鮮平南新安州

祝安州之發展
御下宿、生魚商、氷販賣
武子寅藏商店
安州城內

祝安州之發展
日用諸雜貨商
京義線新安州
鈴木唯市商店
(元吉木商店)

祝安州之發展
西洋家具、室內裝飾
諸官廳御用達
平壤旭町
堤政七
電話三一三番

祝安州之發展
黑鉛買入
朝鮮黑鉛商會
京義線新安州驛前

祝安州之發展
齒科
水本政次郎
京義線安州城內

祝安州之發展
朝鮮安州
藤村恒三商店
振替京城一〇六
發電略語(フ)

祝安州之發展
歐米諸雜貨卸小賣
京城日報販賣店
各地諸新聞大取次所
京義線新安州
鹽田商店

祝安州之發展
陶器卸小賣
金物
漆器
其他世帶道具一切取揃申居候
平壤南門町
秋鹿陶器店
電話十二番

祝安州之發展
日用雜貨
田中商店
安州城內

祝安州之發展
平壤名產
子持栗と人參玄武飴
平壤を行かれたら忘れずな
秋鹿商店
電五四番

祝安州之發展
和洋御料理
松葉
安州城內

祝安州之發展
諸機械
鐵筋鐵骨組立
湯屋用風呂鑵
煙突鐵柵鐵戶
土木建築用金物
龜甲型窓格子
鑛山用諸器具
農園蔘具
其他金物一切
製造販賣
平壤府黃金町
中田鐵工所
中田友治

祝安州之發展
日用雜貨
松崎商店
安州城內

祝安州之發展
鮮人向雜貨
河野出張店

祝安州之發展
曹洞宗新安州布教所
今江海雲

祝安州之發展
長靴界の大革命
雨具及長靴代用ハイカラゲートル
防水布製一足に付 五十錢以上三圓七拾錢
大正式マント頭巾付(サック入) 防水布製一枚に付 四圓以上五圓八十錢迄
大正式マントは安價にて防水に堪へ地質堅牢に付官吏及商店外交員の地方出張用に欠く可からざる品なれば御用命を乞ふ
雨具及びハイカラゲートル發賣元
東京共和商會

太陽生命保險株式會社
平壤代理店
毛織物洋服商
黃海道及平安南道 特約一手販賣所
平壤旭町二十五番地
遠忠商店
電話三百二十三番
振替京城七六〇番

祝安州之發展
活版印刷
石版印刷
帳簿販賣
京義線新安州驛前
赤松活版所
赤松民次郎

祝安州之發展
吳服、太物、洋反物
和洋メリヤス類
舶來毛布洋傘類
小間物化粧品類
最新流行帽子類
洋服附屬品一式
其他和洋雜貨
朝鮮平南新安州
㋫深川吳服店
振替京城一四九六番
電略(フ)又は(〇フ)

祝發展
山崎果樹園
京義線新安州

祝安州之發展
平安農工銀行安州支店
蜂谷昌藏

祝安州之發展
大倉組發電所
朝鮮平安南道安州郡

祝安州之發展
朝鮮平壤
最上醤油
宮川釀造所
長電話五五番

祝安州之發展
朝鮮平安新安州
和洋御料理 日の出館
藝妓
時助、五郎、花子、時代
胡蝶、鶴子、綠奴

蚊帳
もめんカヤ
はんあさカヤ
ほんあさカヤ
しろカヤ
つぎめなしカヤ
きくらカヤ
㊂竹中吳服店
浴衣
まをかユカタヂ
ちぢみユカタヂ
しまユカタヂ
しぼりユカタヂ
かすりユカタ
かたびらめいせん
平壤本町 長電四五六
振替口座二一二三番

祝安州之發展
常に最新流行品の粹を集めて破格の安値段で御客樣に御提供致しますのが弊店の特色であります
新流行
萬屋物
御小賣
分きまゝや號
平壤大和町人車停留所前

祝安州之發展
黑鉛買入開始
▲鱗狀黑鉛原鑛石
▲鱗狀黑鉛粗製品
各種買入
今般當所に於て電氣原動力を以て鱗狀黑鉛の再製々煉開始致候に付各種鱗狀黑鉛高價にて現金買入可仕候
尙ほ相當の鱗狀黑鉛鑛山には出資、經營の御相談に可應候
新安州
㊧福井黑鉛鑛業所

祝安州之發展
㊅安
運送店
新安州驛前

祝安州之發展
歐米雜貨
花咲商店
朝鮮平南新安州

祝安州之發展
肥料部
蒸製骨粉各種
星印配合肥料
膠及膠原料
石鹼部
化粧用石鹼
工業用石鹼
家庭用石鹼
牛脂、椰子油
鯨油、苛性曹達
洗曹達
石油各種
京城旭町二丁目三十番地
朝日石鹼製造所
電話九七三番 振替京城四〇〇
京城岡崎町十四番地
朝日石鹼分工所
電話二五六四番
京城東大門外紅葉町
朝鮮肥料製造所
電話二六三五番
平壤西門內
三井商店
長電話七五〇番

京城日報

廿六日朝刊（夕刊と合せて八頁）

發行所　京城日報社　太平通一丁目
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介

……及盛夏……に降雨を……道全羅北道……五月に……京畿道及び忠清南……最多量にして此間……に多く概ね百粍以上を測りたる……も中部以北は甚だ寡量にして就中龍……れり今旬中各地の雨量、雨天日數及び不均氣温等を列擧すれば左の如し

京城日報

支那の形勢

袁氏世を去て後、支那は平靜に歸すべしと思の外、其紛糾は日に甚だしきを加ふるもの丶如し、其帝政反對運動と曰ひ、討袁軍と曰ふ、袁氏ありて初めてこれ有り、袁氏無きの後は其の爭ふべき原因なき道理なれども、畢竟支那輓近の事は、中央政府の無資無力に乘じて、各々其權勢利益を爭ふ爲に外ならずして、爭ふが爲めに爭ふもの丶み、是れ袁氏死して、其事更に甚だしき所以なり。

今日支那の首腦たるの地位に立つものは、新總統黎元洪氏なり、其行政部は段氏の責任内閣なり、然るに段内閣は黎氏の根據たる南方勢力と相容れず、南北兩勢力の外に、近頃其位帝復辟運動を企るものあり、其他所在將軍兵力を擁して、地方に割據するあり、支那内地は四分五裂の狀態を呈するといふ有樣にて、世間其の歸趨する所を知るものなし。

併ながら、支那人の爭は自ら支那人式也、實力實勢を以て相爭ふを爲さずして、専ら郵便電信等を利用して、議論を鬪はすに力む、今日の當面の問題は、約法即ち憲法は舊法を取るべきか、將た新法を取るべきかといふと、帝政運動に關係するものを處罰すべしといふと、及び國會を如何にして開設すべきかといふこと等にありて、若し憲政の常經に依りて之を斷ずるあらば、其解決必ずしも難からずと雖も、何分にも新總統は極めて無勢力なる上に、段内閣と相容れず、南人亦黎總統を援護するの手段方法を有せず、只相顧みて自然の成行を觀望するといふに止る、從つて表面上は支那は四分五裂爭鬪を重ぬるといふ情形なりと雖も、其實は只に舌を以て相當るに過ざる也、或は今日若し有力者ありて、支那の爲に周旋盡力せば、大勢忽ち定るべしと爲すものあれども、其は無爲の業なり、支那は一大國家なり、其政治問題を解決し、其内閣員を易置するといふが如きは、他國の爲し得る所にあらず、且今日支那人は爭ふが爲めに爭ふものにして、未だ其爭の非なるを悟らざるなり、彼等をして思ふ存分に爭はしむるの後にあらざれば他人の忠告や勸告は寸效あるべからず、只支那の爲めに最も憂ふべきは其政府にて、彼等が紛擾を事とするの際に於て相率ゐて窮迫の極に陷り、遂に哀を外國に乞はざるべからざるに至るべく、支那を救ふものは第一に資金を供給せざるべからざる破目となるべし、然れども斯る場合に於て、單純なる借款は成立すべくもあらずして、結局借金の爲めに政治上外交上の難問題を誘致し、此に初めて重大なる支那問題なるものを實現し來るべく、其れまでは群衆の兵を潢池の上に弄するを見るべきのみ。

獨逸の現狀（三）

△民心の沈衰

予は予が集め得たる二三の印象を茲に附記せむとす。先づ獨逸人民の意氣沮喪せしことは著しき事實にして全獨逸中、殊に日用品供給の取締普魯西よりも寛に、警察の施設亦普魯西の如く行屆き居らざる南部地方に在りては最も著し、而此の元氣の沮喪は或階級又は上流若くは下流に限られたるものに非ずして全國民に及べり、尤も之れには種々の理由あり、經濟上の弱者は最も必要缺く可からざる日用品の缺乏に依りて影響を蒙り、富裕なる階級は將來如何なる事態を發生すべきかを測り得ずして空しく憂懼し居れり、是れ戰場に於ける成功が最早國民の歡聲を呼び起さざる理由の一なり、又今回の戰爭の爲め生ぜる金儲けの好機會も成金輩――驚くべき程度を以て發生し目下の伯林をして從來未曾有の野鄙なる都會と化せしめつゝある所の者――に對して何等眞の滿足を與へざるなり。是れ迄占領地は將來永久獨逸の資産と認め得べきものに非ず、而して今日の富が明日如何なる價値あるべきかは何人と雖も知らざる所なればなり此の懐疑的の精神狀態は余の見る所に據れば獨逸人として寧ろ不自然とも云ふべき一新現象なるが、此の心的狀態は嘗に智識ある階級にのみ限られずして、全國民の一般性格となりつゝあり。今日に於ては普魯西人にもバヴソリヤ人にも均しく之を認め得べし、讀者諸君にして試に獨逸に入るとも最早其の國家的英雄に關する熱烈なる崇拜歎を聽くことなかるべし。伯林に駐すること數週間に上るも一度も『ヒンデンブルグ』の名を聞くことなからむ。此の普魯西の英雄を現はせる夫の巨大なる醜き木像には尙金、銀、又は鐵鋲を打つべき餘地過半を存ずるも、今や之に鋲を打たむと試むる崇拜者なきに至れり通り掛りの視察者は今尙カフエー、劇場、酒店、又は料理店等に喧しき群衆の溢るゝを訝るならむも其實彼等は成る可く人氣を引立しむるやう官憲より奬勵せられ居るなり。予の知れる前記獨逸人は此の群衆を評して人懐かしさの餘りに集まるものなりと云へり。由來豫言なるものは甚だ不安の業なるを以て予は獨逸が現時の不景氣の重荷を今後幾箇月間耐へ得べきかを茲に豫言するを敢てせず、と雖も、若し彼等にして今一箇年此の逐次增加し來る所の壓迫に耐へ得んか、彼等は英雄以上にして而も人間以下なりとの一事は茲に之を公言するに憚からざるなり（完）

金剛山寫生　平福百穗

△萬瀑洞の瀑流は外金剛の流溪と稍々趣を異にしてゐる、萬瀑轉打する所奇潭百千殆んど窮盡する處を知らない

大阪より

△露債見返編入

日本銀行に於ては今回既發露藏券を見返擔保品中に加ふる事とし廿二日各市中銀行に通達したり右は露券發行當時より其の計畫ありたるものにて特別の理由あるに非ずと尚引續き日本銀行にては資金化の一方法として見返範圍を更に擴大すべしとの説あるも日本銀行支店にては同説を打消し居れり

△露券殘部引渡

露大藏證券總額五千萬圓中千二百萬圓は未だ東西シンチケート銀行の手許に預入しあるが來る二十八日を以て殘額の大部分を微收する事となりたれば之にて一行約五六萬圓宛を殘すに過ぎざるに至れりと

△臺銀の南洋發展

臺灣銀行にては昨年瓜哇スラバヤに出張所開設以來行員を派しスマランの商況等視察せしめしがスマランは臺灣特産包種茶輸入港として南洋第一の良港なれば爲替其他の關係上出張所を創設するに至るべしと

△大阪土地熱再興

大阪市並に市街隣接地に於ける不動産賣買の狀況は一昨年來の土地熱冷却時代に比し眞に隔世の感を以て漸騰し來れり經濟界の恢復に依り遊金の増加したる結果に外ならずと雖も一面大阪工業界が益々殷賑を呈し諸事業の勃興と共に工場地を必要とする關係上市内並に附近に對して敷地選定に著手するもの逐日增加の傾向を生じたれば自然土地賣買を誘致せる模樣にて市内に於て思惑的賣買極めて旺盛なるより一部の人氣は土地熱に集中して地價の引上を行ひ一層漸騰の氣勢を促進せしめ居れり（大阪支局）

城壁文學

（第三）李朝太祖京城奠都の眞相（三）

小田省吾

偖然らば吾人は終に●●●●●太祖の建造せし景福宮の有樣を知ることが出來ぬであらうか。余は特別に之を知る目的を以て朝鮮の諸書を渉獵したことがないから何とも云へぬが、恐らく朝鮮の書籍には廣さとか、方位とか、建造年月とか宮殿樓閣の名前位を臚列した記事のみで、此の宮闕の建築が如何なるものであつたか如何なる美觀を呈して居つたかを詳記したものはあるまいと思ふ。然るに不思議な事には、文祿役に關する内地史料中に當時の京城並に王宮の有樣を一寸書いたものがある。前にも述べた通り宣祖朝壬辰亂（即ち文祿役）當時に現存した宮闕が太祖の時建築したものであるならば、文祿役に日本軍の見た王宮は即ち其れなのであるから、此の内地史料に依りて太祖建造の景福宮の俤を窺ふことの出來るのは隨分面白い事ではないか、由て煩縟を厭はず該史料を讀者に紹介しよう。因に此の史料は加藤清正と共に征明第二軍に將たりし鍋島直茂朝鮮在陣中の書記で、普聞集一名肥前舊記と稱するもので、ある。其の中此處に引用する部分は直茂が京城に入つた時の記事である。

『高麗（朝鮮ノコト）王城ノ形勢壯觀耳目ヲ驚カセリ。東ニ流レタル江ヲ肥江トイヒ、南ニ總レルヲ漢江トイヒ、西ニ在ルヲ西江トイフ。南山、北山、三角山三方ニ峙テリ。此三山ノ間高巖深谷ヲ嫌ハズ石ヲ築クコト四十餘里（直茂人ヲシテ其メグリヲ檢セシム）其中ヲ洛中（京城城内ノコト）トス。北山ノ下南面ニ禁營ヲ立テ石ヲ削ツテ四階トス。五歩ニ一樓十歩ニ一閣、正面ニ石蓮花ヲ刻ミテ欄干ノ柱トス。橋ノ左右ニ石獅子四疋ヲ置ク。其中央石ヲ疊ンデ壇トス。四隅ニ石獅子十六疋ヲ置ク。其上ニ紫宸清涼（内地宮殿ノ名ヲ借ル）ノ二殿ヲ立テ、石ヲ以テ柱トシ、四面ニ上下ノ龍ヲ彫ミ、梅檀ヲ椽トシ、其端ゴトニ各一ツノ風鈴ヲ吊ル。甍ケル棟、朱ノ簷、金銀ヲ鏤メ珠玉ヲ飾ラス。天井四壁ハ五色八彩ヲ以テ麒麟鳳凰孔雀鸞鶴龍虎ヲ描ケリ。紫宸ノ階ノ中ニ石ノ鳳凰フシキ左右ニハ石ノ円鶴アリ。洛外ノ人家軒ヲ並テ幾千萬トイフ數ヲ知ラズ（中略）殿舍廊廡兵亂ノ爲ニ破レ闕獸ノ穢、狐狸ノ栖トナル。直茂及ビ從士等折フシノ軌轉懐情外ニアラハル』（直茂人なして云々は原拙の備なり）

此の記事少しく文飾に過ぎた所もあるが、多分鍋島の右筆でも書き付けたものであらう、何んと面白いではないか。且又王宮は日本軍の入城前亂民の荒す所とはなつたが、此の記事の有る事より推測するに、全で灰燼に歸してしまつたのではなく、さすがの大建築ゆゑ多少有形の存して居つたものと見ゆる。左もなければ斯る記事の書けよう筈がない。併し此の壯大美麗の宮闕が大破壞のまゝ見捨てられて有つた惨澹たる光景は實に『闕獸の穢、狐狸の栖』となる。直茂及從士等折ふしの軌轉懐情外にあらはる』の一句に盡きて居る。（此項完）

（ハ）……する由を採知し朴貴鉉に對し李召史は他に二十圓の借金あるを以て之れを支拂はざれば結婚する……三月八日……郡西串面……作里……化方にては去る……一頭を猛獸の爲め殺され……たるより……民は大……して乙が……りたりと……に對し其筋より金十五圓の賞與……

●潜り泥棒　京城……円生れの……

京日詩壇

○李稿　富澤雲堂
清節高風三隠一。異朝豈又願功名。太悲天子戯言在。自認辭成擲勃情。
○春初小雨　笹島紫峰
小樓初聽雨。桑筑幾軒來。天地聽同感。新恩及古梅。
評曰　著手成春。

日報歌壇

□能なき身　京城　鈴木古都子
野狐に憑かれし人の如くにも能なき様にもがくわが魂
紀念しやる方なさにおのが手の筋などつくづくながめてありぬ
嫗に燃ゆる火よりも赤く燭脳の一重ひな罌粟咲きぬ六月
囚人の罪にあらずや我がこゝろ我からわれを欺きて生く
かなしみに心も暗くなりし時手燭とらせて来し人や誰
□世渡る術　松浦淑郎
たまさかの作り笑ひもこれやこの世渡るすべと聞けば悲しや

◀書籍御案内▶
蒙古通志　中島竦編　定價三〇　郵稅八
蘇峰文選　第八版　定價三五〇　郵稅二四
大正政局史論　鵜崎鷺城著　定價一〇〇　郵稅一〇
撞球指南　玉乃一熊著　定價一五〇　郵稅一〇
乃木大將　上製　横山健堂著　定價一二〇　郵稅一〇
乃木大將　並製　横山健堂著　定價八五　郵稅一二
高杉晋作　村田峰次郎著　定價一〇〇　郵稅一〇
元田先生進講錄　第七版　東宮御學問所　定價八五　郵稅一二
發賣所　京城日報代理部　電話六六〇番　振替京城三〇〇番

購買公告
一水道用鑄鐵管其他
一右購買ス詳細ハ當部門前掲示ニアリ
大正五年六月廿五日
朝鮮駐劄軍經理部

价川輕便鐵道
列車時間表
价川發　前六、〇〇　九、〇五　後十二、〇五　二、四〇
新安州著　前七、五五　十一、〇五　後一二、〇〇　四、三四
新安州發　前九、一〇　後十二、一〇　後二、四五　五、三〇
价川著　前十一、〇三　後二、二二　四、三七　七、二八

理學博士豊原信一郎著　最新刊
タングステンとモリブデン
現下喧傳せる重石と水鉛の唯一說明
世界的鑛産工業の最大原料たる兩元素の性狀、探鑛、分析、用途、製鍊法等を極めて平易に說述したるものなり
紙數百餘頁　正價金六十錢　郵稅金四錢
工學書院發行　東京　振替一三九二〇

增訂　サクション瓦斯　押川製鐵所長序　内山大一郎著
●瓦斯機關者の顧問　使用　同　正價金一圓八十錢　郵稅金十二錢
●製圖應用　機械見取　西山工學士校閲　武山庄太郎著　正價金一圓五十錢　郵稅金八錢
滿鮮一手發賣　京城　大阪屋號　電話六〇八及二〇八番　振替京城二五七三六番

子供の讀物　見よ最善最良の
少年　少女　七月號
定價各十六錢　郵稅一錢半
東京　時事新報社發行

最愛の――お子様たちには
梅雨と夏の衛生に御注意あつて最良の
森永ミルクキャラメル を與へられよ
ポケット用　小五錢　大十錢
煙草代用
當會社特設の化學試驗部に於ては藥學博士丹波敬三氏藥學博士岡田寛吉氏兩顧問の選定せられたる專任技師數名顧問指導の下に日日使用する原料を檢定して品質の統一を期す
森永製菓株式會社
5―8

博文館創業二十九周年記念出版
太陽增刊
世界の變局と日本
本號要目
■刑強の戰時外交……（前世頁の提論）田中慶大教授
■獨墺敗戰後の極東形勢論……林董伯爵　早川千吉郎
■赤裸々の袁世凱……安岡秀夫
■歐洲戰後三國協商の將來……長岡法學博士　大隈氏
■戰後の思想界の傾向……中島文學博士
■戰後の殖民地問題……（前世頁の提論）松岡法學博士
■英獨對抗の將來……三宅文學博士
△歐洲戰後の東亞と將來の國策……津村法學博士
△現戰と產業經濟の消長……氣賀法學博士
△戰後に於ける文明の破滅……堀江法學博士
△行詰れる物質と社會の缺陥……金子早大教授
△近代の思想と大戰の陰影……吉田文學博士
△大戰の眞相と戰後の國際關係……立作太郎法學博士
△現時の國際法と戰後の國際關係…………
△戰時の我船舶界と戰後の施設……今岡工學博士
△化學工業發展根本策……井上工學博士
■戰後の經濟策に就て……井上法學博士
六月十五日發行　定價三十五錢　郵稅三錢
東京本町　博文館

○駐支公使は林男乎

日置公使は客春日支交涉中落馬負傷せし頭部及び脚部未だ癒えず苦痛を感じ居れると支那の時局は袁世凱氏の長逝に依り事態一變せるを理由とし頻りに歸國靜養を希望し居るより當局にては愈々其の後任を選定することゝ爲したるが林男進んで之れが局に當らんことを希望し現內閣と意見交換の結果漸く一致を見るに至りしを以て他に有力なる候補者ありしも終に男の就任を見るに至るべき模樣なり（東京特電）

○財政總長更迭

策令にて周自齊の辭職を裁可し陳錦濤を財政總長に採實琦は稅務司督辦に任ぜられたり（北京特電）

○蔡鍔病氣重し

北京政府は二十三日蔡鍔病氣重しとの電報を接受せり（北京特電）

○運河兩岸の激戰

コルキ西方の戰鬪は漸次其の勢ひを加へ來り兩軍一勝一敗の狀態にあり獨軍は銃砲兵隊の掩護の下にキッセリン東北方にて最も激烈なる攻撃を行ひたるも撃退せられ我軍は多數の捕虜と九門の大砲とを獲たりオギンスキー運河の兩岸に於て激戰あり双方共に同運河を徒涉し得ず獨墺軍の其後の援軍は佛領戰線よりガリシヤのホルフィテーに到着せりブコヴィナに於て露軍はクチー附近のウィレユニツアを占領せり（露都電報）

○獨飛行機を落して戰死

米國飛行家にして佛國の外人飛行軍團員たるチャップマン氏は獨軍飛行機二臺を打ち落したる後終に戰死を遂げたり（桑港電報）

○獨潜航艇米船を拿捕

獨逸潜航艇は米國グレート、イースタン會社汽船部ラッセル號を拿捕し白耳義のゼーブルーシエ港に收容したり（桑港電報）

○工場法施行令

新工場法施行令第六回樞府特別委員會は廿七日午前九時開會の筈なるが聞く處に據れば猶二三回會議繼續の上ならでは決定を見るに至らざるべしと（東京特電）

○日滿連絡貨物（一）　四年度輸送狀況

大正四年度に於ける滿洲（安東を含む）發著貨物の總輸送數量は十八萬七十六噸を算し前年度に比較すること四萬五千七百四十噸の增加を示せり之を南北行に分つときは院局線發數量四萬六千五噸南滿東清線發數量十三萬四千七十一噸にして何れも前年度より好況を呈せり之が發著線別の輸送數量次の如し

北行	院線發南滿東清線著	二三、二九七噸	前年度に比し六分增
	局線發南滿東清線著	二二、七〇八	同　一割五分增
	北行計	四六、〇〇五	同　一割一分增
南行	南滿東清線發院線著	[illegible]	同　三割三分減
	南滿東清線發局線著	[illegible]	同　[illegible]增
	南行計	一三四、〇七一	同　四割五分增
總計		一八〇、〇七六	同　二割九分增

▲院線發南滿東清線著貨物

し增加したる綿絲布は四月に入り稍々頓挫したる爲め一般輸送數量一千六百五十噸は前年同月に比較し七百二十噸の減退を示せり當時日支交涉の風說傳はりしも之が解決を告ぐるや程なく南支地方に於ける日貨排斥運動は熾烈を極め漸次北進して滿洲に及び輸送品種の首位を占むる綿絲布に其の影響を及ぼしたること甚だしかりしが爲五月以降の輸送數量は類例なき大激減を呈し七月の如き一般輸送數量實に六百三十七噸に降れり時恰も露貨は一段の暴落を示し支那貨亦低調を恢復せざる等前途の商狀憂慮すべきものありしが滿洲に於ける歐米品の輸入著しく減退せるか上久しき排貨は各地共在荷の拂底を告げたるに因り商繁期に入ると共に漸次排貨終熄の曙光を認むるに至り九月以降年末迄は反動的增加を續け每月の輸送數量二千五百噸乃至三千噸に躍進せり越えて二、三月も亦滿洲に於ける綿絲布需要期にして一般貨物と共に相應の出荷ある頃なるが綿絲布の內地相場緊張、染工費昂騰に依り需要減を見越して買進み無く再び成績不良に終れるが排貨後の輸送好況なりしが爲本年度輸送數量二萬三千二百九十七噸は前年度に比較し一千三百三十七噸（六分）の增加を示せり輸送數量及び主要貨物月別比較次の如し

▲輸送數量月別比較（單位噸、△印減）

月別	大正三年度	大正四年度	比較增減
四月	二、三七〇	一、六五〇	△七二〇
五月	二、三六七	一、二四〇	△一、一二七
六月	一、四三六	七七五	△六六一
七月	一、一八一	六三七	△五四四
八月	一、四一四	一、五七九	一六五
九月	一、四九三	二、七四八	一、二五五
十月	一、七〇〇	三、〇二五	一、三二五
十一月	一、三五五	二、五五七	一、二〇二
十二月	一、八三九	二、九三六	一、〇九七
一月	一、六九五	二、一九五	五〇〇
二月	二、五四五	二、〇七三	△四七二
三月	二、五六五	一、八八二	△六八三
合計	二一、九六〇	二三、二九七	一、三三七

▲主要貨物年別比較（單位噸、△印減）

	大正三年	大正四年	比較增減
內國米	九九	一、一三九	一、〇四〇
砂糖	五七五	二四〇	△三三五
果物類	六四二	六八二	四〇
酒類	五五七	五六八	一一
綿布	三、四三八	三、二七五	△一六三
綿絲	三、四一五	二、九八六	△四二九

▲局線發南滿東清線著貨物

輸送數量二萬二千七百八噸は前年度に比較し二千九百二十二噸（一割五分）の增加を示せり本年度中輸送數量著しく多かりしは八月の二千九百四噸及び九月の三千七百七十六噸にして右は八月木材の荷動旺盛を極め其の數量一千二百十噸を算したる外新安州より安東に至る鑛石五百十六噸を輸送したるに依るものにして又翌九月に於ては同鑛石一千九百十三噸の出荷ありたるが故なり而して九、十兩月の前年同月に比較し激減せるは鎭南浦より木溪湖に至る鑛石前年九月に於いて五千二百二十六噸同十月に於て五千二百五十三噸の輸送ありたるが故なり然れ共本年度の每月輸送數量は何れも千噸を降らざる好況を呈せるは各月共鮮米輸出盛況なりしと木材鑛石等相應の荷動ありたるに依る

▲輸送數量月別比較（單位噸、△印減）

月別	大正三年度	大正四年度	比較增減
四月	六七一	一、〇一三	三四二
五月	七六二	一、〇九〇	三二八
六月	五九五	一、六〇四	一、〇〇九
七月	五六七	一、六五九	一、〇九二
八月	七二一	二、九〇四	二、一八三
九月	五、九〇九	三、七七六	△二、一三三
十月	六、〇一八	二、一二四	△三、八九四
十一月	七五〇	一、五二九	七七九
十二月	一、二九五	二、二六〇	九六五
一月	七八四	一、三五七	五七三
二月	八三六	一、四八三	六四七
三月	九二二	一、九〇九	九八七
合計	一九、七八六	二二、七〇八	二、九二二

▲主要貨物年別比較（單位噸、△印減）

	大正三年度	大正四年度	比較增減
米	四、四二八	一〇、一九五	五、七六七
木材	八〇六	五、二八二	四、四七六
鑛石	一〇、四七九	二、六〇四	△七、八七五

○各地新營工事

大正五年度總督府新營計畫中本府廳舍及び地方廳の分は院報の如きが右の外目下工事中及び近く工事に著手すべき各所新營工事を擧ぐれば學校に於て平壤中學の新築釜山中學及び醫學專門學校工業專門學校の增築に十萬餘圓、慈惠醫院側は大邱醫院の增築濟生院の增築等にて四萬餘圓專賣課所管に於て廣梁灣出張所及び忠州出張所の增築にて二萬餘圓、監獄は西大門咸興海州各監獄其他の增築にて八萬圓、中央試驗所に於て燒瓷器試驗室等にて二萬餘圓其他驗場衛生試驗室地方法院二箇所平壤鑛業所納屋水原模範場の蠶種製造所洗浦牧場谷面牧場林業倉庫等なりと

○對貨貸出高　前年に比し減少す

鮮內主要貨物に對する各銀行の貸出高五月末現計を見るに現物保管百七十三萬三千五十二圓、倉庫業者の保管百五十一萬八千圓、總計三百二十五萬二千二十九圓にして之れを前年同月現計に比するに現物保管に於て四十一萬三千五百七十五圓、倉庫業者保管に於て三十五萬一千五百六十二圓、合計六十七萬五千百三十七圓の減少を見たり、而して其融通貨物中貸出額の最も多きは玄米にして百二十八萬二千四百三十一圓を算し綿布類の七十八萬四千百六十圓、紬の二十六萬一千百九十一圓等順次相亞ぎ、中白米、繩米、牛皮、大豆、小麥等も亦五萬圓以上に達せり

○下水案の內容　工費百六十萬圓

京城市街に下水溝を設置す可しとの議は茲數年來の宿題にして總督府土木局にても亦兩三年前より歐米下水道の實績を參考として調査しつゝありしが此程漸く其議熟したるを以て大體の施工方針を起案し目下關係各部にて合議中なりと云ふ、今其案の內容を聞くに下水溝は最初工費四百五十萬圓を投じて歐米の最新式施設にかゝる暗渠式を採用し雨水、汚水と共に糞尿をも排泄せしめんとするの案なりしが中途之を變更し開渠式による雨水及び汚水のみを排泄するの設備を施すに止めて工費約百六十萬圓を計上したり、而して其工事は二期に分ち第一期に於ては七十萬圓を計上し大正六年より五箇年間の繼續事業とするものなり工費の出所は半額を國庫より補助し殘り半額を地方費補助及び府費にて支辨するものなり、工事の順序としては大略[illegible]たる可き水源地の大溝に約二十七萬圓を投じ大淡渫を行ひ更に南山及び北岳方面の小谷約三十箇所に砂留堰を設け其他山間の數所々々には砂防工事を施したる上漸次に各幹線の工事を行ふものなりと、右の下水案は勿論總督府にて大體の方針を定むれども施工に關する詳細なる點に就ては京城道長官之を決定す可きものにして全部の確定を見ば實際の工事は土木局直轄の下に行ふ由なり

○朝鮮農產の現在及將來

勸業模範場長　本田博士談

予は今回米國出張の命を受け近々出發の筈なるが先づ本人の居住最も多き太平洋岸のカリフォルニヤ州に上陸し九月頃迄は夫れの諸州を經てそれより南方テキサスに進き更に[illegible]にも入る豫定なるが直接農業に關し[illegible]は先づ此三州にて大體の要領を得る筈なりされど予は同地の[illegible]、紅茶等の精査するの豫定なるが是等は[illegible]地に於て實際的に觀察を爲したる後農政の本部とも云ふべき華盛頓の諸都市を訪問して得る處あらんと欲する次第なり

元來米國の農業は總て大農式のみにて或は直に執つて以て之を朝鮮に遷すべくもあらざれど米國の農業に就て朝鮮の學ぶべき箇所鮮からざるべきは多言を要せざるべし

▲朝鮮農產物の　大宗たる米作の如き總督政治開始せられて以來既に五割の增加を見たり代表農產物の米作を以て其大體を卜し得べけんが、五年間に五割の增收と云へば非常なる激增にして向後に於て是れ程の增收を見んとするには思ふに二倍の日子を費やすも到底不可能ならん是れ何となれば殆んど爲し盡されたればなり卽ち今後の改良は數量の增加にあらずして實質の精選にあり既に今日迄に於て種子

▲耕作乃至收穫　方法、施肥等各般に於ける改良は實行せられ來れるが尚一層の充實を期せざるべからず較もすれば或は種子を混淆するが如き或は耕作乃至收穫方法を亂雜ならしむる如き更に改良方法を繼續し行く事困難なれば當局者に於て非常なる決戒を爲さざるべからず朝鮮に於ける農の大本は言ふ迄もなく米作なれば之が益々改良助長こそ朝鮮農業の進步の基なるが言ふ迄もなく他に爲すべき事も多々あり

▲棉花の如きは　現在に於ては慶尙、全羅、忠淸の六道十萬町步を制限し居れども予は將來に於いては尚ほ一步を進めて京畿道は勿論以北にも及ぼし得る程度の適當なる種子の發見耕作の研究を爲さゞるべからずと思惟す例へば耕作地十萬町步に於ける收入は一反步の實棉收入百斤と見て一斤を十錢として十萬町步の收入は僅に一千萬圓に過ぎず現在日本に輸入せらるゝ棉花は年二億圓と算せられ居るが其巨額に對して

▲千萬圓の棉花　の如き僅に微々たるものにして全國の工場に使用するとせば一週間乃至十日を支持するに足るのみ唯時々取引に際して相場上一週日乃至十日を支ふるに足るべき朝鮮棉花を引合に出す場合には多少の利益無しとせざれど千萬圓以上に伸展し得ざるものと限定せられんには朝鮮の農產物として將來聊か悲觀せざるを得ず卽ち今後に於て是非耕作區域を擴大し得るに就き相當の講究を爲すの要ありと思考す

▲例へば臺灣の　如く米、砂糖、茶、樟腦、阿片、其他の產物多々鮮からざれば言ふ處無けれど朝鮮に於ては到底之に匹敵し得べき大產物なく專賣制を布くにしても僅かに過ぐべければ先づ內地の其れに倣ひ煙草を以て之に充當せんには又思はるゝ位なり然して何等か他に朝鮮の產物增大を謀り得るものを發見せざるべからざれども現在に於て稍や見るべき將來を有するは養蠶位ならんか思ふに養蠶は必ず良果を得べしと雖も之を朝鮮に慫慂しては何れも其結果は惡しからざれど是れに就ては充分に販路を講じて

▲生產過剩の苦　を敢てせしめざる注意必要なるが是れさても鐵路、露國へ向け得んには其販路も無限なりと謂ふべし要するに朝鮮は統監政治開始せられて以來今日迄正に十一箇年間凶作と云ふ凶作もなく年々好成績を得つゝあれば推して將來の發達をも覗窺せざるを得ず

○京城の私立學校

京城府にて本年五月末日現在を以て調査したる私立學校の一般狀況を聞くに朝鮮人教育にありては現在四十四校を算し其內一般學校二十二校宗教學校二十二校にして主として普通教育及び高等普通教育を施し其成績漸く良好なり而して之を昨年の五月末日に比すれば一般學校にありては一校を減じ宗教學校に於ては一校を增加したり職員總數三百八十八名中一般學校に於ては百八十九名宗教學校に於ては百九十九名在籍生徒總數六千二百八十二名中一般學校三千六百名一校平均百六十三名宗教學校は二千六百八十二名一校平均百二十二名餘にして一般學校は宗教學校に比し男生徒に於ては其就學數多きも女生徒數は其半にも及ばず前學年の卒業生總數六百八十二名にして昨年に比し四十一名を增加したり、又朝鮮に於ける內地人教育の私立學校に對しては從來何等の規程なかりしが昨年同規程の發布されてより設置認可を受けたるものは僅々二校にして內京城女子技藝學校に對しては學校組合より年額千二百圓の補助金を交附し居れり

○咸南記念植樹成績

四月三日神武天皇祭日を記念すべく咸南各郡に於て栽植したる樹木總本數（本年六月二十一日現在）は一百八十九萬七千九百六十五本にして就中咸興郡の三十五萬本を最多數なるものとし利原郡の一萬本を最少數とせるが今其の主なる樹木の種類及び本數を見るに『アカシヤ』六十九萬八千本、柳二十六萬五千本、『ポプラ』三十四萬二千本、赤松八萬六千本『クヌギ』一萬二千本、栗一萬一千本等にして其の他雜木十二萬五千本なりとす

○馬山線列車不通

出水の爲め洛東江、遞永兩驛間の鐵道線路に故障を生じ二十五日夕刻より馬山線は列車の運轉を中止せり

○關釜連絡船不着

二十五日夜釜山入港の豫定なりし聯絡船對馬丸は海上風波の爲め中途より引返したり從つて同夜七時五十分南大門驛發列車は二十六日朝釜山發の連絡船に接續せず

人事消息

▲永石光吉郎氏（平南价川土地調査監督員）二十五日夕入京旭町京城旅館へ

▲野村一郎氏（總督府技師）入京中の處二十六日朝退京の豫定

▲宮林國之進氏（咸州慈惠醫院醫官）入京中の處二十五日夜退京

■南音北語■

近著外國雜誌によると獨逸の飛航船が倫敦を襲撃するのは大抵月初の暗夜である▲其處で英京では其の頃になると市中に電車迄も運轉して目標となる電車の消火を命じて居る▲而して乘合自動車の中止を命ずる▲然らば交通の便を計る爲め間斷なく動かして交通の便を計つて居る▲處が其の自動車には一個必ず數名の負傷者を出す事は殆ど珍らしくもない相な▲春秋の筆法で行けば獨飛航船英人を殺すだが其れも平氣な處は流石英人は豪い▲今度駐日公使になつて來ると云ふ支那の司法總長章宗祥君は東京の帝大出身だけに大の日本通だ▲其れから其の夫人と云ふのが之れ亦日本女學校の出身で日本語の巧なことは恐らく支那婦人界で隨一だらうとの事▲家に居る時でも支那服などよりも日本風の服裝をして居る時が多い相な▲公使と云へば日置公使だつて却々働けた人だ世間では種々の評判をするが扨て其の代りの人と云つたら誰をする▲三浦梧樓將軍が好からうとは好かつたれ▲石井外相なども世間では目が足らぬやうに云ふが却々した頭がある▲唯だ色が白くつて美男子だから何となく人から馬鹿にさるゝは外交通の談▲但し一方でなるまいとは茶目公の陰口▲我外務省にも小村、德川、廣田など若手の大に持てる處があるから結局指にチヤキ〳〵が居る殊に小村君は親父以上かも知れぬと▲賴もしい樣な心地がする

一時雨雪耕小山諸伯　成田魯石稿

雲耕本鶴氏。出襲小山氏。幼學譜鷗川文藝。近有日本千名所譜會之擧。既獲六百數十幅。今將入金剛山探其勝景賦之以爲贈。[illegible]

内科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話專用二七三番

日韓書房　新版報告
朝鮮總督府編纂　朝鮮[illegible]分布圖　定價 送料
內藤鳴雪著　俳句のかみち　定價 送料
中內蝶二著　新俳句自在　定價 送料
嚴谷小波著　俳[illegible]通　定價 送料
岩崎直子著　安產のしるべ　定價 送料
京城本町二丁目

諸官衙御用
鐵道用具
鑛山用具
建築金物
製作所
尾谷寬造
京城府新龍山漢江通六番地
電話四百六番
特に鑛山機械用具は弊所の獨得製作とする所なり

發行所ニ注意セラレヨ ――→ 研究社
東京麹町區富士見町六 振替東京二八〇一番
七月號本日出來（一新又新の新編輯）
中學生
中學生諸君　外務大臣男爵 石井菊次郎
中學及中學生　横山達三
勅語中の人物となれ　陸軍大臣 大島健一
獨逸人の長所　理學博士 三宅驥一
殘念!!と後悔せぬやう賣切れぬ內買ひ給ひ、成程これからは「中學生」と目下學生界の大評判
天から飛んで來る石　理學博士 横山又次郎
中學三萬圓の選手　早大教授 高杉瀧藏
軍用火藥と毒瓦斯　工學士 西松唯一
吾輩は雷公である
大懸賞五百人當選發表
每月一回一日發行　一冊定價金拾五錢

新築落成　六月廿五日移轉
京城旭町一丁目（京城府廳裏通）
外科 花柳病 皮膚科
內科 耳鼻咽喉科
診察夜九時迄
島崎病院
院長正六位勳四等 島崎龍
電話二七三六番
手術室新設
隔離病室普通病室設備
入院隨意

[illegible]…繭給料金額によるものにて著々行政整理の實を擧げつゝあり因みに成繭の集荷數は二千石と豫想し夏秋…洪川揚口麟蹄の四郡は…繭共同販賣組合の取扱に係る春蠶…少くも…千四百石に昇り夏秋蠶を合し一千六百石の見込なるを以て資金の木萬…

(上)ケープタウンの市街とテーブル山(下)佛領セネガルの土人夫婦と其娘

洋行土産 —2—

佛領セネガルに避難…海上の危險漸く去る…戰時のマルセイユ…運河工事と都市設計…巴里から倫敦…

總督府技師 坂田鳴海氏談

船はケープタウンを出でアフリカ大陸の西海上を北へ北へと向ひ再び赤道を通過して航行したが恰度カナリー群島を左舷に見るあたりへ差しかゝると無線電信が掛つて來て『獨逸の假裝巡洋艦メーヴェ號が北海の封鎖を破つて大洋に脫出し頻りに跳梁を極めてゐて今カナリー群島附近に出沒してゐる。今迄に既に聯合國の汽船十隻

△五萬噸餘を擊沈し 尙頻りに虎視眈々たる狀態である。須く警戒せよ』と云ふ警報なのである。潜航艇の危險を避けようとしたればこそ加茂丸は南阿大迂回の遠洋航海を敢てしてゐるのに今此海上で斯る警報に接した譯だが或は八阪丸の後を追うて海底の藻屑と成る樣な事でもあつたらどうだらうと一時は船客一同不安に堪へぬ心を抱いた何でもメーヴェ號の出沒してゐると云ふ事は英のアッパム號がやられて

△其ボートの破片が 漂流してゐるのを發見したのが初まりだつたと云ふ此警報に接した後は今にもメーヴェの兇猛な艦影が出現しはせぬかと危害を加へる樣な事があるかも知れないと迄心配されたが加茂丸の船長にしても危險を敢て行く程の無暴な人ではない直に航路を變じて佛領セネガルのダーカー港に寄港する事に成つた。セネガルは同じ阿非利加大陸の一部とは言へ金も金剛石も石炭も羽毛も其他更に

△産物と云ふ産物は 出す地位はサハラ大沙漠の西端地續きではあり更に佛國人の國民性とも云ふべきか海外出稼の風無く殊にケープタウン、ナタール等英植民地の大袈裟な狀況を見て來た眼には何等見るべきものとても無かつたがダーカー港は流石佛國の交通上の樞要地なり且は戰時の植民地とて港灣に或は要塞設備の如き築港の如き軍事的設備が無いでもなかつた此處ではケープタウンやナタールなどに較べて非常に

△土人に遇ふ機會が 多かつた何んでも三四日も此港で避難してゐると漸く海上危險去ると云ふ報告に接して加茂丸は援錨ジブラルタルの海峽さして航海を續けたジブラルタルからマルセイユに入る迄の地中海のアルゼリヤ沖が又獨逸潜航艇の隱見する處で危險地域だと云ふので多少の不安もあつたが加茂丸は無事マルセイユに入港した。マルセイユは流石佛蘭西の地中海に於ける唯一の港ではあり更に戰時の事とて

△堂々たる港灣設備 海陸連絡設備の完備は言ふも更なり百貨呑吐旅客織るが如くとでも云ふ處で實に多忙を極めてゐる私は此處で或は運輸交通設備、築港の狀況都市設計の如き各方面の事を視察し得る處が多かつた佛國では港灣の視察は此マルセイユと北海岸のハーブルとを見た、マルセイユを立つて巴里に向ひ巴里を中心として右ハーブルにも行き地方にも出掛け運河工事の如き都市設計の如き

△專門的の觀察を 爲し其れか 倫敦に向つた。倫敦が私の歐洲視察の根據地とでも云ふ所で此處から更に八方を巡廻した譯で愛蘭土には行かなかつたが蘇格蘭には行つた。ハル、ノリンスビー、ニユーカッスル、エヂンバラ、ファースオヴフオース、グラスゴー、ケンブリッヂ、マンチエスター、リバープール等の大小都市を遍路して各般の事情を視察調査して來たのである。

□地久節御儀

二十五日は畏くも皇后陛下三十二回地久節の佳辰に相當せるを以て陛下には午前十時桐の間に出御御參內の皇太子殿下並に兩皇子殿下の祝詞を受けさせられ引き續き各宮殿下を始め奉り大山、松方兩元老、東郷元帥、大隈首相以下文武百官並に同夫人等の拜賀を受けさせられたる後正午豐明殿に於て前記各皇族方並に百官に酒饌を賜りたり(東京特電)

●朝鮮藥學總會

名譽會頭に長井博士推選

朝鮮藥學會は二十五日午前十時より日の出小學校に於て總會を開き會規に關する議事終了後役員の選擧に移り會頭には小島技師副會頭に村田藥劑正吉木藥劑官幹事に樋下田宮本兩氏選擧せられたるが出席者は各道に於ける警務部、慈惠醫院、水道、衞生試驗所、公私病院關係者及び開業藥業家等七十餘名なり午後一時よりは講演會に移り名譽會員芳賀院長古海總長の臨席挨拶及び講演あり猶ほ會員の講演左の如し

寫眞製版術に就て 小田制三氏
顯微鏡寫眞に就て 同 上
炭酸加里の製造法に就て 同 上
朝鮮に有望なる二三の製藥 上田保治氏
成鏡南道新浦產明太肝油の試驗成績 古賀惣五郎氏
チアツオ、ベングール、クロリードに就て 同 上
裁判鑑定の一例 齋藤萬助氏
乾燥血痕に就て 中根勝造氏
實豆の成分 日南田義治氏
朝鮮產蕃椒の分析 藤村顯一氏
チアノク、プロールに就て 山脇熊人氏
加里製造工業に就て 河合清邁氏
可溶性澱粉の製造に就て 林 熊五郎氏
乾燥澱粉に就て 中島省三氏
水道注水作用に就て 樋下田鹿次郎氏
チニトロクレゾールの檢水法 岡田文雄氏
歐洲戰亂と我製藥事業 吉木彌三氏
朝鮮產セクビニウム、マーニスに就て 兒島高里氏
北鮮化學工業 谷川澄治氏
其他演題未定者 四 名

講演終了後午後六時より花月に懇親會を催す筈因に今回帝大教授長井博士を名譽會頭に推薦し承諾を得たり

□朝鮮の養蠶

▣昨年の繭產額約六萬石

從來朝鮮にも多少の蠶は飼育されて居たるも其の種類は支那四川省方面より傳はりたる三眠蠶にして其の繭は劣惡なるが上に

▽飼養 の數も甚だ僅少であつた爲めに諸所に自然に生じたる山桑ものである、而して平安南道及び慶尙北道の如く古來より養蠶地として知られ居つた位の牛の飼料として居つた處にても養蠶に由つての利益を得ようと云ふやうな考へは少く殆んど弄び物の如く少しばかりの蠶を飼ひ繭は綿として裝身の紐や總を作る位に止まつて居た斯う云ふ狀態に在つた朝鮮に總督府で養蠶を

▽獎勵 した最初は專ら養蠶の利益を說明して居つたが近來は養蠶の利益と云ふ事は大抵一般に徹底して來たので養蠶は如何に經營すれば利益が多いかと云ふ事を敎へるまでに

▽進步 して來たのである而して昨大正四年の繭の產額は約六萬石であつたから四十三年の產額に比すると四倍以上に成つて居る最初は綿にして內地へ移出したが製絲法がまだ充分でない爲めに綿にするよりも繭のまゝで內地へ

▽移出 する方が便利である上に近來朝鮮繭の鮮價揚りたる爲め內地の製絲家が盛んに買込みに來て昨年の如きは八十萬圓の移出に上つた朝鮮養蠶の今後の問題は桑の

▽栽培 である桑は年々蠶の增率に伴つて進むわけに行かないから大いに桑の栽培を獎勵しなければならぬであらう養蠶は農業の副業として行ひ資本金を多く要せぬと云ふ處が最も

▽大切 の處であるから急に蠶室改造や蠶具の新調等を獎勵しない方が宜からうと思はれる(終)

●三人斬後報

原因は痴情と怨恨から 夫婦は危篤、名は卽死 加害者血刃を提て自首

二十五日午後三時京城旭町二丁目に三人斬りの大慘劇ありたるとは取敢へず昨夕刊に報道したるが其の後取調べたる結果を詳報せんに加害者重永順平(三十)は熊本縣熊本市新町字群山生れのものにて內緣の妻佐賀縣小城郡生れ永淵さく(三)及び順平の實子正(二)の三人暮しにて旭町二丁目七十九番地に居住し洋服仕立職を營み居れるが順平は平素營業に熱心にて

▲正直者との評判 高く實子正は市內某銀行に勤務し相當に生活し居れるが當日兇行に先だち妻のさくを勸め『お寺に詣つて來い』と外に出したるは既に決心の臍を堅めたるものゝ如く軈て午後三時頃と思しき頃同じ棟續き壁一重に居住し餅屋を營み居る被害者山口縣都濃郡德山町生仲子兼太郎(三八)方にて同人內緣の妻くみ(三九)及び同番地にて同家の裏手に居住せる東京市生れ金貸業加藤榮一郎內緣の妻野村かくの(三九)の

▲三名が雜談し 居れるを見澄したる順平は銳利なる刺身庖丁を逆手に持ちて俄かに躍り込み先ず兼太郎の脇腹外一二箇所に突き刺したれば驚きたる妻のくみは筋向ふの平常懇意の間柄なる食料雜貨商南山縣人清水某方に駈け込みたるに荒れ狂ひたる順平はくみを追跡し同家の裏口にてくみの脇腹を三個所許り刺し右腕に一箇所斬りつけたる際兼太郎も同家に駈け込み來り兩人は相前後して

▲同家に打倒れ 多量の出血にて人事不省に陷りたり其の時逆上の氣味なる順平は鮮血滴る庖丁を提げて兼太郎の家に取つて返し犯行し居たるかくのの右眼に突き刺して一抉りしたる爲眼球飛び出したるが順平は拔く手も見せず今度は心臟部目掛けて突きも通れと刺し貫きたり同女は虫の息にて附近なる若槻醫院に運び込み其門內にて遂に絕命したり右の兇行を演じたる順平は眼眦みながらも鮮血滴る兇器を逆手にかざし程近き所轄本町

▲警察署に驅け 込み事務室に入て『三人殺して來ました』署長さん『と氣もおろ／＼と自首したるより詰合の警官が庖丁を奪ひ取りて一先づ留置場に收監したり依つて同署にては急遽宮舘署長司法主任等部以下現場に出張し一方急報に依り京城地方法院檢事局よりは水野檢事書記を隨へて現場に出張し來りて檢證する所ありしが遂に夜に入りて引揚げたり被害者仲子夫妻は最寄りの瀨戶醫師の應急手當を受け總督府醫院に入院したるが何れも

▲生命覺束なし 被害者仲子…[illegible]…兩兒は…[illegible]…

慘劇のありし餅屋

れなりし兇行の原因に就ては其筋に於て秘密に取調べ中にて事務上嚴秘するを以て何等知る由も無けれど記者の探聞する所に依れば慘劇の焦點とも目すべきは前記加藤の內緣の妻かくのにあるものゝ如く何れ痴情と怨恨の伴ひたる結果と推測さるゝも何れ詳報する所あるべし

●豪遊中捕はる

京城府…[illegible]金基鳳(三)は同居人朴勝北より四十圓の郵便貯金の拂戾方を依賴されたるを奇貨とし預金全部なる百三十圓を引出して九十餘圓を横領し娼家にて豪遊中同三日前鍾路署に檢擧されたり

●大金拐帶

釜山寶水町一丁目井上米穀店雇人原籍福井縣今立郡北新庄村生れ尾形潤松(三)は先頃來同店に雇はれ釜山監獄にて精米する足踏米授受の係りを擔當し居る中去る廿二日監獄より受領せる金十圓八十…[illegible]

●京平商店祝宴

…[illegible]…

…洋畫家生駒義萬氏は今秋の文展出品製作のため親しく朝鮮の風物に接すべく二十四日入京したるが二三箇月間南山町村上旅館に滯在し一般の依囑に應ずる傍ら講習を催すべき等なりといふ

□玉葱と藝者の顔

…[illegible]…

●平壤中學校近況

校長赤…[illegible]…一名なり…[illegible]…

●咸南春蠶近況

咸南にかける…[illegible]…狀況を聞くに內地種在來種共に發…[illegible]…

讀者文藝 (一句一錢(?)の懸賞)

▽一口噺(題隨意)

○內地人『朝鮮は馬鹿に暑いね』ヨボ『そのかわり冬は馬鹿に寒いよ』 (一等) ○○生

△主人『ヴエルダンも愈々危い樣だな』…『突っ張り日本軍の威力でしよう』 京城 玉山

△松公『私チヤトいよ／＼酒はやめました』…『寒い！！一杯買つてやら——』 龍山 生駒義一

△某『二十一日は一年中で一番日の長い日だ』給仕『道理で退屈時間も長かつたようだ』 京城 浪太夫

△茶目『朝鮮人はなぜ白い着物を着て居るだらう』坊『暑熱發散の結果さ』 仁川 鈴木定輔

△交『愈川が出來たが汽車で行かふか自動車で行かふか』出坊『自轉車に乘つて汽車に乘りやいゝぢやないですか』 京城 金澤 凡

■募集規程 ▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲締切は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更ふる事總て一種二句以內の事▲此規程に據らぬものは投書

京日案內

普通(一回金三十錢…) 番外(一回金…) 申込後中途掲載中止の節は料金返戾せず

▼篆隸十體千字文 ▲送共六〇其他習字帖色々有 京城本町○振二〇三〇 ウツボヤ書店 320

▼有給外交員採用 希望者は履歴書 京城花園町 持本人來談あれ 帝國圖書普及會朝鮮支部 883

貸 月收の御方は信用其他擔保等 ▲金 抵利秘密融通 電話二七七二 ▲京城吉野町一丁目百廿七番地 者川 884

貸金 月收の御方へ信用秘密融通御報伺上候 京城大和町三 885

犬猫牛馬に豫て木注射を施せば狂犬病に罹らず又犬猫診療南山町二の六電六九三京城狂犬病豫防注射所 887

病院並地方患家の付添及看護婦派遣に應ず 京城櫻井町二ノ一九 電二五三二番 朝鮮看護婦會 311

古本高價買入 驚入歡迎の勉强是非御試し 四電話二七八一 番參上 京城本町 群書堂 348

下女に雇はれたし月給は望ます 儀裁縫習ひたし 876

譲店 京城本町 最目拔場所 有利確實 輕便 商業 希望者は電話二〇三五番 881

貸家 但し解き除けを要す ▲本町二丁目 二階建四戶住一棟 ▲同二戶住一棟 ▲同一戶住二棟あり 電話四七六番 關商店 886

恩給年金類 長期低利立替 短期保險不用 市內土地擔保低利金融す 京城南大門外(富成町) 山口屋 339

鑛山測量開業 土木水利測量設計製圖調査 忠州竹內鑛務所 868

農產種子卸問屋 卸賣定價表申込次第郵送す 東京千住 在保木間 種甚商店 850

◎京城南大門外 驅除除蟲菊粉發賣 販賣部 鮮勸農株式會社 873

時計學 修理講習 製造 特價金武圓 但前金に限送料 京城黃金町 植村支店 829

京城春川間毎日午前八時出發 京城南大門通一丁目 廣橋自働車 電話二一九番 主務金正淵 322

恩給年金退隱料 低利立替 御便利御時如何樣にも御相談仕候 特別 京城若草町 百六番地 西村商會 398

分礦物各種 京城太平通二ノ二五 坂元分拆所 電話一三四四 865

恩給年金類立替 京城本町二(京城銀行横小路) 吉田屋 874

商標 佛具調進所 京城本町二丁目花月前 電話一五七一 小倉佛具店

懸賞尋人

原籍福岡縣八女郡下廣川村當時平壤賑町勇樓方抱娼妓初菊事江口キクヱ

年齡二十二歲、身長五尺一寸位、長顏色靑白く、九州訛、左頰に腫物の跡あり、肉痩せたる方、右本月廿日逃走發見通知の方には相當謝禮す

MALT-SOAP EX

腸胃 病兒 營養 小兒 便秘 特効

マルツ汁エキス

各醫科大學各專門學校病院御用品 諸博士實驗報告御申越次第贈呈

東京神田 和光堂

新刊書御案內

大尉の娘 プーシュキン作 八〇
お七吉三 岡村柿紅 四〇
平生の懺悔 宮崎湖處子 七〇
舞ごろも 與謝野晶子 一〇〇
女優ナナ 永井荷風 七〇
我樂おもちや集 渡邊霞亭 高田久子 一二〇
碁 道三段 橋本國三郎 八〇
新選俳句大觀 下 三宅嘯山 八五
實用西洋料理法 赤堀峯吉 八〇
海岡蘭竹譜 上下 岡野金治郎 六〇
支那研究 教育學術界 一二〇
滿蒙と山東 小川運平 一〇〇
獨逸戰前の其相 ベーンス 八五
お話の研究 水田光 五〇
元氣回復健腦術 金杉博士 七〇
最新健强法傳書 小川光次郎 一〇〇
最新庭球術 和田實 四〇
英文日誌 岡田先生 五〇
來るべき時代の爲に エレン・ケイ 一二〇

大阪屋號書店 京城本町電話二〇八六 振替京城二六八七三

飛行家は スミスを以て世界一とす 理想的雨具は 鳥村商店調製の 雨具を以て覇王とす

完全無比の 理想的雨具 本店 鳥村商店 支店 三友 雨具 共同 進出 二店

女鳩

渡邊默禪

「三六」騷の中の喜劇

其處へ巡査が蹌踉と入つて來て、ぶきつちよに坐りながら

『いやア、どうも驚きましたア。賊が入つたさうでして……』

紅く充血した眼をきよとんと光らせて、仔細らしく鬚を撚つた。

『おい、夜前の警官か』子爵は座蒲團に坐り直して『御苦勞でした、宿から知らせたんかね』

『いや。實は此處にゐる源作といふ者が訴へて來ましたんで、取急ぎ驅けつけて參つたやうな譯ですが、何か盗難に罹つた物品でもございますかな一つ其れから先に伺ゐませう』

制服の匿兜から手帳を出してオホント氣取つた顔は、よく新聞や雜誌に出る漫畫そつくりだつたので、大野がくすくすと笑へで子爵もそれに釣られて微笑した。と源作は後から膝行出して

『これ、ほたなはらだこかねもんだ(そんな嘘を言ふな)取急ぎ驅つけたなんて、鼾聲のいゝとばかり言ふけんどお前起しても起きねかつたでないかゞ。割れるほど戸を打叩くとお前のおかた(女房)が出て來ておれンとこでは醉ばらつて寢たんだから駄目だ、何だつてハア一人で一升も飲んで、鷄の肉を三斤半も食つたから明日の日暮までは、殺されたつてハア正氣に返るめゑつて爾う言ふだで……』

無遠慮に素破拔かれて巡査は狼狽

『をい、何を言ふかッこらッ』

『まア默つて聞かつしやい。ほだら私負ぶつていくべゑかと言ふと、あ、爾うして連れてつてけらつしやい。夜半の寒い風に當つたら目が覺めべゑといふだで、泥坊をふン縛る繩を出させて、お前を背負ひかけたらやつと目を覺まして、こらッ俺を捻んで何處さ行くッと呶鳴つたではねかツほだなこだな(そんなこんな)ことで小一時も間をつぶさせて置いて取急いでもないもんだ』

『莫迦ッ、妄らないことを云ふな、本職を侮辱するのかッ、汝ッ』

まるで落語のやうな滑稽な爭ひに一同は堪らず吶と失笑した。巡査は頭を掻きながら

『いや、實際を白狀しますと、面識物の、その何が、一種の催眠術になりましてな、アハヽヽ飛んだ失策をやらかしました』

『左樣なとは兎に角、源作、お前は賊を追懸けてくれたさうぢや。聞けば無なく發砲の音がしたで、怪我をせんかと心配しとつたが、別條がなくつてよかつたのう。どうした、賊は』

子爵は訊いた。

『ね、殘念にもなにしも途中で逃がして了つたゞす。雪明りで薄ぼんやり姿が見ねたけんど、恐ろしい足のはいゝ野郎でなす、お寺の門前まで行つたら、何處へそびれたものやら急に見ゑなくなつたまなす』

彼の語る所に依ると、ちやうど次の間でちびりちびりと殘酒を味はつてゐるうちに、いつか睡氣ざして來てごろりと肱を枕に寢て了つた。と、強かに足を踏まれた痛さにひよいと目が醒めて、誰だと咎め立てたが返辭がなかつた。刹那に闇中を躍つて二階の窓に驅寄つた一つの黑い影を認めた。彼は思はず賊と叫んだ、さうして勃然と飛び起きて後から曳戻した。賊はいきなり横面を撲つた、彼はその手を捻つて組伏せた。忽ち激しい格闘になつた。彼の膂力は賊を凌いだ。彈返して起き揚つたのを、肩車にかけてどうと投げた。小兵の賊の體は野球のやうに筋斗打つて、窓の雨戸へばたりと搗つた。その機會に雨戸は脱れて賊をのせた儘もろに崩へ仆れた。賊はするすると雪を辷つて屋外の路へ轆がり落ちた。彼も續いて飛下りた。賊は墓地に村の方へ逃げた。彼が猛然として間近く追つた時に、賊は走りながら振回つた。その手から火花が散つて轟とばかり彈丸が飛んだ。彼はハッと思つて地に伏した。彈丸は幸に中らなかつた。彼は何處までもと追跡した。けれどもそれが失敗に歸した。

源作の話を聞訖つてから子爵は、巡査に向つて靜かに前後の事實を話つた。そして最後に

『盗られた物は枕頭に置いた時計だけぢや。只鞄や何かの方ばかりに注意して、うつかりし居つたで、それも今漸と氣注いたやうな譯でね。なに、大した物ではない。いつか洋行中、瑞西で求めたもので、白金の三枚蓋ぢや。左樣、價格にしたら鎖ともに五百圓ぐらゐなものかね』

『は、五百圓!?』巡査は愕然として『それは大變ですなア』

●六月中旬氣象概況 (仁川觀測所發表)

……の常態を呈したりしが十三日支那大陸に發生せし低氣壓は其の後發達して十七日に至り我他海邊の本州方面に…… 岩國は僅に二粍に過ぎざりき又氣溫は…… [illegible]

●媒介者を歎く 京城 長樹

ここ難かしかるべしと歎き同人より除に努め居れる間本月二十一日同里金允學(二十)は外一名と共に本月十日…… [illegible]

婦人科 産科 二宮醫院 京城壽町四丁目 醫學士 二宮亮吉 電話二三〇一番

時勢に伴ふ車は辻
附屬品小賣共卸價格 安く御取引仕候

京城黄金町三丁目 辻商店 電話一二九〇番

●妊娠法と安產法
▲(醫會發表)男女必讀の面白き珍書 [illegible]

此品無代進呈
時間正確 [illegible]
大阪東區東平野町一丁目 大和屋呉服店 [illegible]
一圓五十錢 [illegible]

花柳病專門藥
京城永樂町二丁目 東京 ドラッグ商會 滿鮮本部
●類似品あり花柳病には東京ドラッグの製劑に限る
◎一週間分 普通 金壹圓廿錢 特製 金貳圓五拾錢

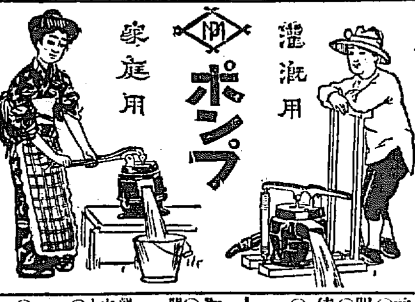
果樹害病虫驅除豫防藥
牛田式噴霧器 特約品
果實掛袋 製造品
平壤府停車場通 平安攻玉園販賣部 電話二六四番 振替京城一四五五番

祝仁川支局發展 仁川本町二丁目 米穀商 平山松太郎商店 電話一五三番
祝仁川支局發展 仁川港本町四丁目 日鮮人向雜貨商 南方商店 振替一三六 電話一六六
祝仁川支局發展 京城電氣株式會社 仁川支店 電話二三四番
祝仁川支局發展 仁川宮町 釜問屋 青嶋商店 電話長七〇番 振替京城六〇番
祝仁川支局發展 仁川本町三丁目 日鮮人向雜貨商 井上藤吉商店 電話八六番 振替京城一〇〇
祝仁川支局發展 仁川宮町廿六番戸 舶來雜貨商 明治屋 電話六二四番
祝仁川支局發展 總督府度量衡器販賣所 仁川宮町一丁目 綿糸綿布卸商 赤松商店 電話七六六番 振替京城二三三番
祝仁川支局發展 仁川山手町 會席御料理 うろこ 電話六八番
祝仁川支局發展 仁川府本町四丁目 ◎廻漕業 ◎撫順炭特約販賣所 野口商會 電話一七三 七五〇
祝仁川支局發展 朝鮮仁川港 合資會社 木村組 電話 給水部三〇番 回漕部三一番

朝鮮總督府許可
人參エキス
内用精能 神經衰弱、神經痛、老衰、痔病、子宮病、胃腸病、不良の滋養強壯劑なり
外用精能 神經痛、僂麻質斯、火傷、凍傷、切傷、打撲傷、肩凝、蟲、虫刺、腫物に卓効あり
人參直引大販賣所 京城朝鮮人參藥菓舖 津村兄弟商會 電話一四八〇番
特約店 北島藥房 古城藥房 廣岡藥房

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 京城日報社寫眞製版部

外科 皮膚科 瀬戸醫院
旭町二丁目(舊三丁目) 醫學士 瀬戸潔 診察夜九時まで (電話二四九八番)

松田式ポンプ

灌漑用 家庭用
御申越次第目録送呈 朝鮮一手特約販賣 京城本町二丁目 釘本藤次郎商店 電話四五番二七七四番 振替京城二五六番

贊化病院 京城本町二丁目 電話二四番
内科 小兒科 入院隨意 毎日五名を限り無料施療す
醫學博士 古城憲治 醫學士 上野亮藏

質 片山質舖 完全なる倉庫あり御報參上何品でも御預申升 明治町二丁目交番東小路

ルーデサック BA 十個四十錢 …… 京城黄金町三 山田文殊堂藥房

大邱浦項間自動車時間 大邱出張所
大塚農場自動車部
金泉醴泉間自動車時間 金泉織居自動車支部

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
相模丸 七月五日 正午出帆
高砂丸 七月十五日 正午出帆
三河丸 六月廿五日 正午出帆
仁川海岸町二丁目 電話十番 堀回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 立神丸 六月廿七日 後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 六月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 六月 日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 六月廿九日 後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三麥平丸 六月三十日 後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三麥平丸 六月 日後六時出帆
住須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
晚山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 (關東都督府命令航路) 第十六共同丸 六月 日後二時入 六月 日前九時出
朝鮮總督府主要驛にて荷客連絡輸送御取扱仕候 大連にては青島行定期船と連絡 荷客共直航 船と同額運賃にて通し輸送御取扱可仕候
○城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸(元山出帆) 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆
本社 京城南大門通 電話長一九五二番二三三番 支店出張所代理店 營業所
○全羅丸 七月一日 釜山發
○京畿丸 六月 日
○黃海丸 七月五日
○成鏡丸 (門司より釜山各港寄港)
○穩城丸 六月 日
○昌平丸 六月三十日 元山發
○鏡城丸 六月廿六日 (元山より各港經由雄基行)
○忠清丸 七月六日 元山發
○平壤丸 六月廿九日 (浦汐津迄の直航航路)
○永興丸 毎月廿八回 元山發 (北久味、五里浦行)
○益德丸 六月廿七日 釜山發
○江陵丸 毎日 浦項發
○慶陽丸 (長崎浦方面寄港)
○三浦丸 六月二十日 釜山發 (長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港)
○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 毎日 釜山發 (各港經由麗水行)
○順天丸 三日目毎に 木浦發 (三日目一回木浦行)
○公州丸 六月三十日 木浦發 (各港經由濟州島行西廻)
○公州丸 六月廿六日 木浦發 (南多島海邦島行)
○慶興丸 六月 日 木浦發 (各港經由濟州島行東廻)
○宗信丸 六月 日 仁川發
○江原丸 六月廿六日 仁川發 (青州、大連、芝罘行)
○麗水丸 六月 日 仁川發
○晉州丸 六月 日 仁川發
○錦江丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、關門、神戸大阪行
○安東丸 七月一日
×大智丸 七月五日 後五時出
天智丸 七月八日
○鎭南浦、群山、神戸、大阪行
漳州丸 六月廿八日 後二時出
○木浦、釜山、麗原、鄕の浦、長崎行
×信濃川丸 七月廿二日 後二時出
×信濃川丸 七月四日
○鎭南浦、釜山、關門、神戸、大阪行
大智丸 六月廿三日 後二時出
×信濃川丸 六月廿九日
×信濃川丸 七月廿七日 後二時出
○大連直行
日米丸 六月 日
福州丸 七月十二日 正午出帆
○群山、神戸、大阪行
群山丸 六月 日 後五時出
宮島丸
○清津、浦鹽行(元山出帆)
福州丸 七月十六日 後二時出
△印六、城津、西湖津二寄港 須磨丸 六月廿八日 後二時出
▲宮島丸 七月四日
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
城津丸 七月 日 後四時出
湖北丸 七月九日 前六時出
御注意 ○印は一等客御斷り △印は貨物御斷り ○×印は一等客御斷り ……
切符發賣所 京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 內國通運會社仁川支店